

## 第 49 回技能五輪全国大会 「情報ネットワーク施工」職種競技課題

「情報ネットワーク施工」職種の競技課題は、構内、ビル内及び宅内を想定した情報配線システムを構築するものである。競技課題は、課題 1～課題 6 の 6 課題で構成される。採点方法は、別途公開するが、「正確さ」「スピード」「創意工夫」を基本に、「Cabling（配線）」「Design（設計）」「Loss（測定）」「Process（施工方法）」「Safety（安全）」「Functionality（機能）」の観点から採点を行う。

### 1. 課題内容と参照図表

各課題は、次に示す Doc（文書）、Fig（図）、Table（表）を参照して行うこと。なお、課題は、競技当日前までに公開されている内容から 30%の範囲内で変更を加えるものとする。

課題 1：宅内配線（90 分）	……………	Fig.6、Table 3-1、Table3-2
課題 2：光接続スピード（90 分）	……………	Doc.2
課題 3：構内配線（240 分）	……………	Fig.1、Fig.2、Fig.3、Fig.4、Fig.5
課題 4：トラブルシューティング（15 分）	…	Doc.3
課題 5：メタル接続スピード（30 分）	……………	Doc.4
課題 6：選択	……………	Doc.5

#### 【配布資料】

Doc.1：第 49 回技能五輪全国大会「情報ネットワーク施工」職種競技課題（本文書）

Doc.2：課題 2 ルール

Doc.3：課題 4 ルール

Doc 4：課題 5 ルール

Doc.5：選択課題説明

Doc.6：Q&A

Doc.7：採点基準

Fig.1：課題概要図（課題 3）

Fig.2：光配線図（サンプル配布、詳細当日配布、要設計）

Fig.3：メタル配線図

Fig.4：110 パネル配線図

Fig.5：ラック配置図

Fig.6：住宅ブース内設置図

Fig.7：競技ブース配置図

Fig.8：基本設備図（住宅ブース）

Table 1：部材表（支給）（別途公表）

Table 2：部材表（持込）（別途公表）

Table 3-1：課題 1 メタル配線表（サンプル配布）（別途公表）

Table 3-2 : 課題 1 光配線表 (サンプル配布) (別途公表)

## 2. 競技時間

### 【1 日目】

8:30～11:30 課題 4 及び課題 5 (全員 8:00 まで集合)

グループ A(10 名)    グループ B(10 名)

8:30～10:00                  課題 4                          課題 5

10:00～11:30                課題 5                          課題 4

13:00～14:45 課題 1 (課題 6 含む、14:00～14:15 休憩)

15:15～16:45 課題 2 (準備時間 50 分、接続時間 40 分。終了後、測定確認が終了するまで待機)

### 【2 日目】

8:30～13:00 課題 3 (課題 6 含む) →コンタクトタイム 10:30～11:00(30 分)

## 3. 注意事項

### 【一般事項】

- ・ 競技課題で使用する部材の工法は、各取扱い説明書を参照し行うこと。原則として採点の際の基準は、施工説明書、取扱説明書とする。
- ・ 実際の (現場) の施工作業を想定した作業方法をとること。競技のための施工方法は認めない→別途、Q&A 等で事例を明示。
- ・ 安全に十分注意して作業を行うこと。
- ・ 競技が終了した場合や、質問等がある場合は挙手で知らせること。

### 【課題に関する事項】

- ・ ツイストペアケーブルの結線は、T568A で行うこと。
- ・ 構築する配線システムの配線性能規定はクラス D を基本とする。
- ・ 選択課題用の部材 (指定されたもの) は、各自持ちこみとする。

- (1)本競技は、融着接続により、光ファイバをより長く接続するものである。
- (2)測定の結果、定められた損失値を超える箇所は断線と判断し、それ以降の接続は採点対象としない。
- (3)1番心線には、測定用のピグテールファイバを融着接続すること。ピグテールファイバは各自持参することとし、その長さは概ね5m程度とする。
- (4)心線接続方法(線番など)及びトレイへの収納方法(各トレイへの収納順序など)は、指示に基づくこと。
- (5)心線のトレイ収納は適切に行うこと。1トレイあたり5接続収納とする。
- (6)トレイは10枚支給する。
- (7)被覆除去後のファイバ清掃は毎回3回以上行うこと。また、ワイプ紙は1ファイバ/1枚とすること。
- (8)テープ被覆の清掃は、毎回行うこと。ただし、スリーブを通す心線だけでよい。
- (9)光ファイバストリッパの清掃は、毎回行うこと。
- (10)光ファイバカッタ、融着機の清掃は、接続品質に問題が無いよう適宜行うこと。
- (11)ホルダは複数個使用して良い。
- (12)光ファイバカッタ、融着機は1台のみの使用とするが、故障等に備え、予備をブース内に持ち込んでも良いこととする。
- (13)融着機の設定は、標準設定を基本とする。通常の手順をスキップさせることは禁止する。
- (14)保護スリーブの長さは40mmとする。
- (15)接続は 4心一括接続のみとする。4心テープ2枚の8心接続は採点対象としないこととする。
- (16)心線余長は 75cm 以上であることとする。
- (17)競技中に怪我等の安全上の問題があった場合には、採点対象としない。
- (18)競技中にトラブル等が発生した場合は、挙手のうえ、競技委員に申し出ること。
- (19)上記以外の作業については、各競技者が工夫をして行ってよい。

(20)競技時間は100分であるが、初めの50分間(準備タイム)で接続前の以下の準備を行い、後半の40分間(接続タイム)で融着接続及び収納を行う。接続タイムは、全選手が同時にスタートするので、早く準備が終わった者は、その場でスタートの合図まで待機すること。なお、準備タイム間は、その方法等に関しての採点は行わない。また、50分の間に事前準備が終わらなかった者は、接続タイム開始後も準備を続け、終了後に「自ら」接続を開始すること。ただし、接続タイムは全選手同時に終了する(接続タイムの延長は行わない)。

(準備タイムで可能である準備)

- ・全ての使用機器等の準備(電源投入、セットアップ、放電検査(融着機)、工具等の配置等)
- ・ケーブル前処理(外被除去等)
- ・測定用FOコードの融着接続

(不可である準備)

- ・対象心線が区別できるようにしておくこと
- ・心線へのスリーブ挿入

(21)接続タイム開始時は、作業椅子に座って、いつでも作業開始ができる状態にしておくこと。

(22)保護メガネを着用すること。

(23)準備タイムを含む競技中にケーブルや心線が切断してしまった場合など、競技が続けられなくなってしまう場合でも、救済措置はとらない。

## 課題2の採点ルール

以下のルールにより算出されたポイント数により絶対評価点と相対評価点の合計点を課題2の点数とする。

全ての心線を接続した場合のポイント数を接続数 $49 \times 4$ 心 $=196$ ポイントとし、ポイント数が多いものを上位とする。ただし、ポイント数は以下の①～⑩のルールに従って算定する。

※「接続」とはテープ心線の接続部、「ポイント」とは心線毎の接続点を示す。つまり、4心テープ心線の場合は、1接続部あたり4ポイントとなる。

基本ポイント: 接続・収納されたテープ心線数を目視により確認・算出し、接続・収納数 $\times 4$ をポイント数とする。

①収納されていない心線は、1テープ心線あたり接続数を0.5(ポイント数2減)とする。

②スリーブの加熱不良は、1テープ心線あたり接続数は0.5(ポイント数2減)とする。

③収納された心線のうち、曲げ半径、ねじれ、収納状態が著しく悪い場合は、対象心線あたり接続数を0.5(ポイント数2減)とする(ただし、ポイント減の対象の有無に関わらず心線収納の基本は守ること)。

④OTDRを用いて各心線をそれぞれ測定し、以下の④～⑩のルールを当てはめる。

(a)接続損失が $2.0\text{dB}$ 以上である場合には、断線と判断し、それ以降の対象心線のポイントはカウントしない。

(b)接続損失が、 $1.0\text{dB} \leq X < 2.0\text{dB}$ の場合は、ポイント数を1減ずる。

(c)接続損失が、 $0.5\text{dB} \leq X < 1.0\text{dB}$ の場合は、ポイント数を0.5減ずる。

(d)接続損失が、 $X < 0.5\text{dB}$ の場合は、ポイント数をそのままカウントする。

(e)接続損失は、小数点第2位以下は切り捨て④～⑦のルールを当てはめる。

⑤OTDRの損失評価はポイントの置き方により多少変動するので、ポイントを波形のピークに上下方向から合わせて最小値を選択する。

⑥損失箇所(イベント)のポイント数の特定は、OTDRにより測定し、その箇所の距離を $4.7\text{m}$ で除算し四捨五入したうえで、ポイント数とする。

例: イベント箇所の距離が $100\text{m}$ であった場合、 $100/4.7=21.3$ であり、対象イベントは21ポイント目となる。

# 配点表

14点	_____	
10点	_____	196ポイント(49接続)
9点	_____	180ポイント(45接続)
8点	_____	168ポイント(42接続)
7点	_____	152ポイント(38接続)
6点	_____	140ポイント(35接続)
5点	_____	120ポイント(30接続)
4点	_____	80ポイント(20接続)
0点	_____	0ポイント(0接続)

## 相対評価点

出場選手の中で、接続ポイントが上位3人の者に対して配点する(4点～1点)。

## 絶対評価点

接続ポイント数により配点する。

○接続ポイント数1位～3位の者には、絶対評価点に加えて相対評価点を与える。接続ポイント数1位の者は+4点、以下、順に+2、+1点となる。同一ポイントの者が複数いた場合も、同じポイントを与える。その場合も、順位は飛ばないこととする。

例：接続ポイント数1位の者：3名 → いずれも+2点

接続ポイント数2位の者：2名 → いずれも+2点（+1点とはならない）

○絶対評価点は、ポイント数切捨てとする。例えば、115.5ポイントの場合、4点となる。つまり、この場合120ポイントに満たないポイント数は切り捨てとなり、80ポイントと同等となる。

注意事項：・20ポイントを超えない場合は、0点となる。

・80ポイント以上は1点刻みである。

## ○採点例

・選手A：195ポイント（第1位）、選手B：192ポイント（第2位）の場合、どちらも絶対評価点は9点となるが、相対評価により、

選手A： $9+4=13$ 点    選手B： $9+2=11$ 点

必ずしも第1位のものが満点である14点となるとは限らないことに注意。満点の14点となる場合は、196ポイントを取得し、かつ第1位の場合のみである（196ポイントを取得すれば、第1位は確定となる）。

・40接続したが1テープ心線を収納しなかった場合に、対象心線をOTDR測定したところ、1と2番心線は0.5dB以上の損失は無かったが、3番心線に0.7dBの損失が2箇所、0.99dBの損失が1箇所あった。また、4番心線は100mの地点で2.1dBの損失があった。この場合、 $40+40+(40-0.5\times 3)+21-2=137.5$ ポイントとなり、絶対評価は5点となる。

- (1)本課題は、光及びツイストペアケーブル線路のトラブルを発見しその原因を記述するものである。
- (2)各選手の持ち時間は、15分とする。
- (3)各選手は、**指定された時間**に集合すること。
- (4)課題を行う順番は、待機用教室に入室の後、抽選により決定する。抽選は、競技委員が選手のゼッケンNo.を選択する形で行う。
- (5)課題は、課題教室に移動し、行う。
- (6)選手は、課題が終了するまで、待機用教室を出ることはできない。トイレ等の場合は、挙手にて伝えること。
- (7)待機用教室での、通信は一切禁じる。携帯電話等は、入室時に一時預かりとする。読書はokとする。
- (8)課題教室には、筆記用具以外のものは持ち込めない。
- (9)課題教室には、2名の競技委員がいるので、氏名を告げた後、すぐに課題に取り組むこと。その際に、質問等は受け付けない。
- (10)提出用紙に、必要事項(No、トラブルの有無、その箇所、原因など)を記入のうえ、終了あるいは時間により退出すること。
- (11)測定器等は、競技委員が準備する。
- (12)**ゼッケンNo順に、2グループ(A及びB)に分けて行う。**
- (13)**選手は、必要となる測定器の設定を行うこと。**

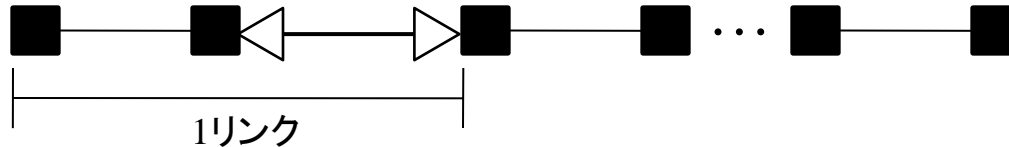
#### 【使用する測定器】

OTDR(アンリツ アクセスマスタ)、OLTS(アンリツ:他社製品各自持ち込み可能)  
LANテスタ(DTX-1800 (フルークネットワークス)、

#### 【課題のイメージ】

19インチラック内や光接続箱に配線・接続された、光線路及びツイストペアケーブル線路のトラブルを発見し、その原因を探る。一般的なトラブルとして、誤接続(線番間違い、未接続など)、クロス-ストレートの違い、成端不良、接続損失・フレネル反射大などが考えられる。

- (1)本競技は、U/UTPケーブルをモジュラジャックとモジュラプラグの接続により、より長く接続することを競う。
- (2)以下の接続図に従って、両端プラグ成端のパッチコード、両端ジャック成端のツイストペアケーブルを作成し、各々を接続する。



- (3)はじめは、モジュラジャックの作成から始めること。また、最後は必ずジャックで終わること。
- (4)パッチコード、ツイストペアケーブルの長さは約0.3mとする。
- (5)結線はいずれもT568Aとする。
- (6)モジュラジャックは支給する。モジュラプラグは各自が持ち込むこと。  
モジュラジャックはNR3061(松下電工)、モジュラプラグはCat.5e(型番任意)、ケーブルはU/UTP(Cat.5e)とする。
- (7)競技時間は30分とする。
- (8)競技開始前に、モジュラジャックのIDCキャップを外しておくことを禁じる。
- (9)同一作業(外被除去など)を複数のケーブルにまとめて行うことを禁じる。
- (10)準備時間は設けないので、休憩時間中に準備を行うこと。
- (11)接続タイム開始時は、作業椅子に座って、いつでも作業開始ができる状態にしておくこと。
- (12)作業台、作業椅子、固定治具の使用は自由とする。
- (13)ラベリングは必要ない。ただし、開始点は必要。
- (14)競技エリアの正面で作業をすること。
- (15)競技中にトラブル等が発生した場合は、挙手のうえ、競技委員に申し出ること。
- (16)上記以外の作業については、各競技者が工夫をして行ってよい。
- (17)IDCキャップの外し、挿入に専用の治具を用いても良い。ただし、一括で複数同時に行うことは禁止する。
- (18)かしめ工具は1個のみ使用を許可する。ジャケットストリッパは複数使用しても良い。

## 課題5の採点ルール

以下のルールにより算出されたポイント数により絶対評価点と相対評価点の合計点を課題5の点数とする。

**基本ポイント:** 接続されたリンク数を目視により確認・算出し、1リンク=1ポイントとする。

- ①ワイヤマップ試験をリンク全体で行い、ワイヤマップエラーが生じた箇所は断線と判断し、その箇所を最終接続箇所としてリンク数を算出し、最終ポイントとする。
- ②①の断線箇所は、接続開始口から順に、各リンクを測定し判別する。
- ③リンク全体のワイヤマップが正常であった場合は、次に各リンクを順に測定する。各リンクとも正常であった場合には、基本ポイント=最終ポイントとする。
- ④成端箇所に、より戻しや外被異常などの不良箇所があった場合には、基本ポイントより1ポイント/箇所減じる。
- ⑤ルールの違反があった場合には、基本ポイントより5減じる。
- ⑥最後がプラグで終わっている場合は、そのプラグ接続は無効とする(直前のリンクまでをカウントする)。
- ⑦接続ポイント数1位～3位の者には、絶対評価点に加えて相対評価点を与える。接続ポイント数1位の者は+2点、以下、順に+1.0、0.5点となる。同一ポイントの者が複数いた場合も、同じポイントを与える。その場合も、順位は飛ばないこととする。

# 配点表

7点	_____
5点	25ポイント
4点	_____ 23ポイント
3点	_____ 21ポイント
2点	_____ 20ポイント
1点	_____ 18ポイント
0点	_____ 0ポイント

## 相対評価点

出場選手の中で、接続ポイントが上位3位の者に対して配点する(2、1、0.5)。

## 絶対評価点

接続ポイント数により配点する。

## 課題5について

配布されているDoc.4中のルール以外に、以下の点を注意のこと。

### ■事前準備

事前準備の注意事項は次のページの通りとする。

### ■作業手順

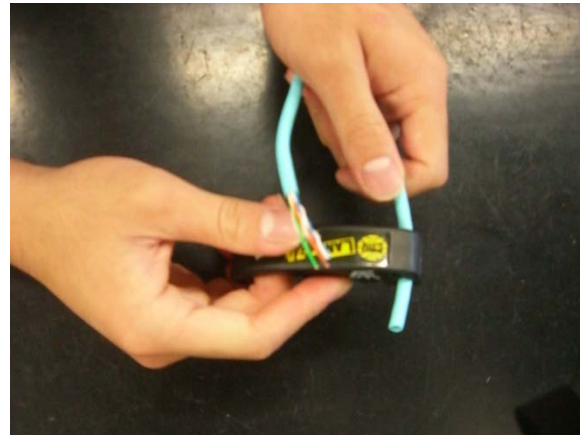
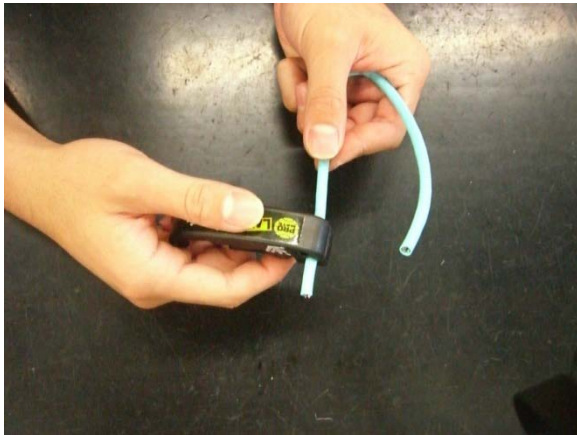
作業手順の注意事項は次のページの通りとする。

### ■追加ルール

- (1)始点となるジャックに、「始点」とラベリングをすること→競技時間中。  
※測定する際の「始点」とするため。
- (2)時間内に終了したものは、終了と宣言し、その場で待機すること。
- (3)競技時間が終了した後に、以下のことを行うこと。
  - (a)各自、配布された用紙に作成し接続したリンク数と氏名を記入すること。
  - (b)作成したリンクは、配布されたBOXに入れること。
- (4)測定器の使用は自由とする。

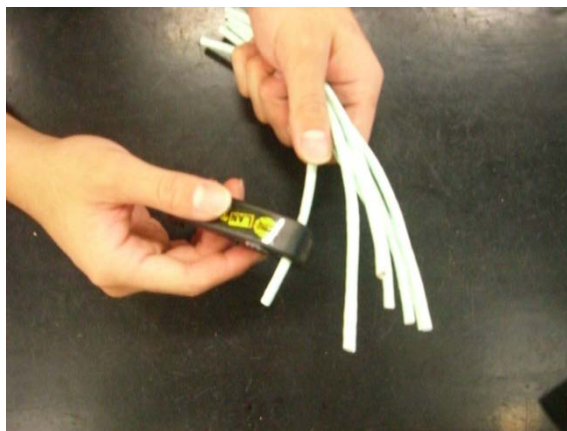
## 作業手順

①



ケーブルを折り曲げ、片方の被覆を剥いで、次に他方の被覆を剥ぐ→OK  
※このとき、ケーブルの曲げ半径は問わない。

②



同一作業を複数本まとめて行う→NG

③



複数本の被覆をまとめて剥いてから、プラグをつける→NG  
※必ず、1本1本作ること。

④ジャックやプラグを交互につくらず、例えば初めにジャックをすべて作成、後からプラグを作成し、最後につなげていくことはOK.

## 事前準備

①

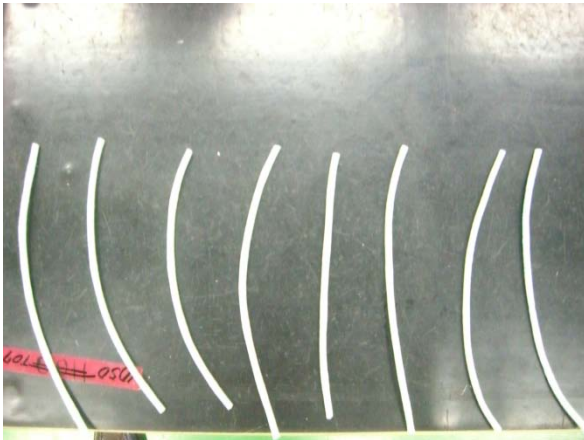


○

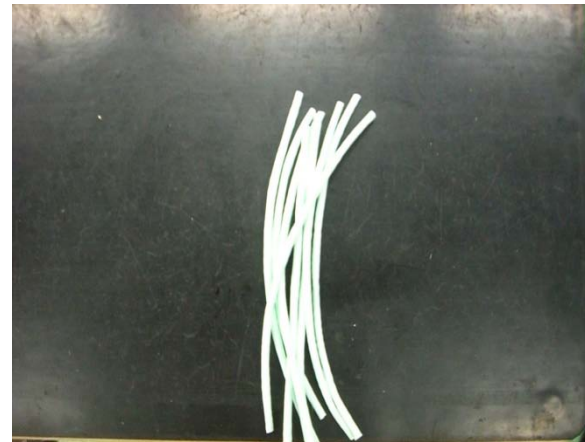


×

箱により分けて入れていくことはOKだが、ジャックのキャップをはずしておくことはNG。



○



○

作業台の上であれば、ケーブルはまとめておいても、ばらばらにして取りやすい状態にしておいてもOK。**このとき、ケーブルは折り曲げずにおくこと。**

※次のA～Cの作業を完了することにより記載の点数を加点する。ただし、選択作業も標準課題の基準と同様に採点する

※選択作業を行う者は競技終了前に申告すること。申告していないものは、選択できない。申告は、各課題の開始前までとする。  
なお、課題3内の選択課題は、コンタクトタイム終了時に変更することができる（追加も可能）。

※申告していた選択課題を終了できなかった場合には、その選択課題の点（満点）の半点を減点する。

※課題1の選択課題は、標準課題終了後に行うこと。標準課題終了時に宣言すること。

※課題3の選択課題は、標準課題と同時に行ってもよい。ただし、時間内に終了を宣言しない場合は、標準課題も終了と見なされない。

※以下の数は、標準作業を除いた数である。

※選択作業はその課題のすべてが終了していない場合は、採点されない（部分点は無い）。

※全ての選択課題の出来型は、標準課題の出来型と別にするなど区別できるようにすること。

A（課題1内）： DB-1内の情報用コンセントに配線しないケーブルの成端：**加点（1点）**

・ TEL×10本、LAN×4本

※すべてコネクタは片端のみ（分電盤側）で他端は分電盤から引き出して開放

B（課題3内）： 未定

C（課題3内）： 未定

## 第47回技能五輪全国大会Q&amp;A

## Doc.6

平成21年10月19日

1	課題 1	Q	マルチメディアポート内を通過させる光インドアケーブルは、MP内で余長をとるのか？
		A	適切な余長を確保してください。ただし、盤内での接続等は発生しません。また、情報用分電盤内を通さずに裏に巻くなどの配線は不可とします。
2	全般	Q	課題1と課題3の区分けはどこですか？
		A	FODB-4の一部の施工までが課題1です。ただし、課題1と課題3は関連しておらず、課題3開始時には、課題1で施工したFODB-4は一度、取り外します。
3	課題 1	Q	部屋名のタグを取り付ける際部屋名が事前には分からないのですか？ それともタグは配布されるのですか？（部屋名とは番号になるのですか？）
		A	当日の競技課題に記載します。また、部屋名ではなく、TO-1(1)のような表記となります。向って左側からTO-1(1)とします。
4	全般	Q	床に配線されるケーブルの状態は採点対象となるか？
		A	採点対象となります（隠ぺい状態などの場合も含む）。
5	全般	Q	19インチラックとケーブルラックは移動させてもいいのですか？
		A	不可です。
6	課題 1	Q	通線孔からのTELケーブルは外線からのケーブルと認識してもいいのですか？
		A	はい。
7	課題 1	Q	「ひらいてねット」は外線端子があり、他の情報コンセントとは違います。外線からのTELケーブルをDB-1で成端するのか、素通りしてTO-3で成端し、2次側のTELケーブルをDB-1へ引き戻し外線端子に成端するのかどちらか指示ください。
		A	「ひらいてねット」に成端し、DB-1に戻す方法をとって下さい。
8	全般	Q	事前準備の取り決めをして欲しい。
		A	別途、公開します。→「事前準備について」をご覧ください。
9	課題 1	Q	使用部材「らくわーく」はどこに使用するのですか。
		A	「ひらいてねット」取り付け時に使用します。
10	課題 3	Q	クロージャ(J362)についてですが、メーカーの工法書では接続中心から、心線長を1600mm出すようになっていますが、ここまです心線長を出さなくては行けないのでしょうか？
		A	接続中心(トレイ中心)より660mmまたは880mmにて接続して構いません。
11	課題 3	Q	スロットロットが10cmになっていましたが、NTT工法の寸法でも宜しいのでしょうか？（各自でクロージャの固定部品を用意しても、ケーブル固定が出来なくなってしまうため）
		A	適当な長さでお願いします。
12	全般	Q	TO名は当日公開となっていますが、タグは手書きでも宜しいのですか？
		A	手書きでもOKです。
13	課題 3	Q	光接続箱は設置されていますか？
		A	各選手が設置して下さい。
14	課題 1	Q	情報用分電盤のケーブル配線(LAN、TEL、同軸)は、決められた配線方法はあるのでしょうか？
		A	当日配布されるTable3で指示します。

15	課題 1	Q	タグは配管ごとのケーブルでよろしいのか、各ケーブルごとにタグを取り付けるのでしょうか？
		A	識別タグの役割を十分に考慮し、決定してください。
16	課題 1	Q	配管へ配線する場合、通線機は使用しなくてもよろしいのでしょうか？使用しない場合は、減点になるのでしょうか？
		A	通線機を使用してください。使用しない場合は減点対象とします。
17	課題 1	Q	情報用分電盤は事前に取り付けてあるのでしょうか？
		A	取り付けていません。各自、取り付けをお願いします。
18	課題 2	Q	事前準備で、心線の取り出しの工法(専用工具など)をしてもよろしいのでしょうか？
		A	心線はそのまま垂らしておくようにしてください。心線を識別できるように取り分けておくことは禁止します。
19	全 般	Q	ケーブルを固定する金具(ケーブル固定部品)を使用しても宜しいのでしょうか？
		A	OKです。
20	全 般	Q	心線収納は、色線(青、黄など)を前に、灰色を後ろなど色をそろえて収納しなければ、いけないのでしょうか？
		A	特にこだわりませんが、品質・美観に注意して収納してください。
21	課題 2	Q	1トレイ5心線収納と記載がありますが、収納した心線数のみ接続完了となるのでしょうか？接続途中の場合、3心線収納など、5心線に満たない場合の収納をしても宜しいのでしょうか？
		A	最終的に収納したほうが有利なので、時間内であればなるべく収納を心がけて下さい。
22	課題 3	Q	光接続箱(FODB-2)の取り付けはどこに取り付けるのでしょうか？課題2と同じ受け台を使用するのでしょうか？
		A	同じ受け台を使用します。
23	全 般	Q	支給部材は自分の作業台に事前準備してよろしいのでしょうか？
		A	OKです。ただし、事前準備の範囲は別途示します。→「事前準備について」をご覧ください。
24	全 般	Q	課題別で作業台の入れ替えをしてもよろしいのでしょうか？作業台、工具箱など全課題に必要な物すべてをブース内に準備するのでしょうか？
		A	入れ替えOKです。
25	課題 1	Q	分配器の出力側にケーブルを差し込む順番はあるのでしょうか？
		A	Table3に従ってください。
26	全 般	Q	競技開始前に作業台等、融着器等を並べて準備してよろしいのでしょうか？
		A	OKです。
27	全 般	Q	地下クロージャ受け台、19インチラック、ケーブルラックの具体的な設置位置を教えてください。
		A	Fig.7をご覧ください。
28	課題 3	Q	3Uパッチ・パネルのホルダーの向きはどちら側にして取り付けるか。(ラベルの位置左右はどちら側か)
		A	ホルダーの取り付けはラベルが左側になるよう取り付けてください。
29	課題 3	Q	パネル前面およびパネル背面にラベル(識別)必要か。
		A	必要です。

30	全般	Q	テープ心線表面の清掃は 補強スリーブを通す側だけでよいのか？ 両側必要か？
		A	補強スリーブを通す側のみの清掃でよいこととします。
31	全般	Q	テープ心線表面の清掃は、単心線毎必要か？ 複数本まとめて清掃することも可能か？ 清掃長の規定はあるか？
		A	複数本まとめた清掃は不可とします。 清掃長は 作業に支障がでない適当な長さとする。
32	全般	Q	工具の交換が必要となった際には、挙手して許可を求める必要があるのか？
		A	ブース内に持ち込んでいる工具については許可は不要です。ただし、ブース外にある場合は、許可を取ってください。また、複数台の同時使用は認めません。
33	課題 2	Q	接続した4心F.Oコードの固定方法は規定があるか？
		A	適当な養生をして接続作業に支障の出ないようクロージャフレームに仮固定しておくこととする。
34	課題 3	Q	光接続箱(光クロージャ)への光ケーブル導入時は、光ケーブル外被にテープ巻きをする必要があるか？
		A	原則として必要ありませんが、保護テープ当の使用により加点等の措置がある場合があります。
35	課題 3	Q	光接続箱への光ケーブルの導入時は、外被剥ぎ取り際に保護テープを巻く必要があるか？
		A	必要である。
36	全般	Q	融着接続を行う際に、融着接続機に標準搭載されている”自動モード”にて作業を行っても構わないか？
		A	OKです。
37	課題 1	Q	情報用分電盤とCD管先端の位置関係は？
		A	ケーブルが導入しやすいよう適当な間隔で情報用分電盤を取り付けてください。ただし、極端にCD管先端と盤の間を空けることは禁止します。
38	課題 1	Q	壁面から引き込むLANケーブル1本、TELケーブル1本、インドアケーブル1本を情報用分電盤内を通過させると、全ての通線を終わってから情報用分電盤を取り付けることができなくなるが、盤の後ろを通過させてはいけないのか？
		A	必ず情報用分電盤の内部を通過するようにしてください。
39	課題 1	Q	CD管への通線に通線ワイヤーを使用しなくてもいいか？
		A	CD管への通線は必ず通線ワイヤーあるいは呼び線などを使用して通線してください。
40	課題 1	Q	電話端子台やテレホンモジュラジャックへの結線時に、2ペアの内余った1ペアの処理はどうすればいいか？
		A	切断せず、外被に巻きつけてください。絶縁被覆の剥き寸法は施工説明書の指示に従ってください。
41	課題 1	Q	情報用分電盤内のスイッチングハブや電話端子台に接続するケーブルは決められるのか？
		A	Table3に従ってください。
42	課題 1	Q	情報用分電盤取付後に同軸ケーブルを配線してもいいか？
		A	構いませんが、通常の施工時は情報用分電盤取付の段階では石膏ボードがあることとなりますので、情報用分電盤取付後に壁内部に触れるような施工は不可とします。
43	課題 1	Q	同軸ケーブルの整線は必要か？ 高所の整線が必要なら身長による差が出てしまう。
		A	競技ブースのパネル(高さ1800mm)より上の整線については、採点の対象外とします。
44	課題 1	Q	TO-1の順番は決まっているか？
		A	向かって左から、TO-1(1)、TO-(2)・・・とします。当日公開されるTable3を確認してください。

45	課題 1	Q	LAN、TEL、同軸のケーブルはどのように配布されるのか？
		A	持参部材となりました。
46	全般	Q	インパクトツールに関して、ケーブル切断側でコネクティングブロックの固定が可能だが、施工上問題はないか？
		A	問題ありません。但し、安全に注意してください。
47	課題 1	Q	らくワークから隠蔽配線がはみ出してもいいか？
		A	結構です。
48	課題 1	Q	住戸より19インチラックに配線する際に余長を配線ラック脇に巻きダメしても良いのでしょうか？
		A	各競技者の判断でお願いいたします。ただし、美観に注意をお願いします。
49	課題 2	Q	先日配布された「課題2のルール」中に、「光ファイバストリッパの清掃は毎回」とありますが、たまに1回とかの清掃忘れなどがあつた場合はどうするのでしょうか？
		A	基本的に、競技中全ての動作についてチェックすることは不可能です。従って、明らかに故意である場合、何度も繰り返し行っている場合は警告対象とします。
50	全般	Q	床面の配線の際に、養生されている床へのケーブル保護をしても良いのでしょうか？
		A	各競技者の判断でお願いいたします。
51	課題 2	Q	ねじれは0.5点とありますが、5テープ収納内の1テープに対する0.5点なののでしょうか？5テープとも0.5点となるのでしょうか？
		A	1テープについて0.5です。5テープではありません。
52	全般	Q	1日目の終了時点で、工具等は整理し片付けるのでしょうか？施工途中のままでも良いのでしょうか？
		A	引き続きの作業がないので、片付けをお願いします。ただし、2日目でも使用する工具は出しておいて結構です。
53	全般	Q	2日目の終了時点で、ブース内の清掃は行うのでしょうか？
		A	簡単な清掃を行ってください。ただし、時間内に作業が終了した選手の清掃は認めません。
54	課題 3	Q	成端箱で、メカスプの素子を2段固定する場合に、製品上、固定が緩くなり上段がうまく固定されないことがあります。その際に、テープ止め等の応急処置もOKでしょうか？
		A	OKです。
55	課題 3	Q	19インチラック用光成端箱のコネクタカバーが前面しかついていませんでしたが、今回もそうでしょうか？
		A	その予定です。
56	課題 1	Q	F型コネクタ取付で同軸の編組線のはみ出しは減点対称になるか？
		A	減点対象となります。
57	課題 1	Q	両端コネクタ付の同軸のコードを作成し、コンセントに接続するが、コンセントへの接続に関して締め付けトルクの管理は必要か？
		A	緩みなく最後まで締め付けられていればトルクの管理は不要とします。
58	全般	Q	ケーブルを事前準備でより分けてもいいか？
		A	事前準備ではケーブルごとのよりわけは可とします。但し、LANケーブルとTELケーブルなどの異なる種類のケーブルを束ねるのは不可とします。また、識別できるようにより分けることも不可とします。

60	課題 1	Q	コンセントプレートへの部屋名表示は必要か？
		A	必要ありません。また、TELの「1」「2」シールも不要です。ただし、スイッチボックス内のケーブルには識別が必要です。
61	課題 1	Q	情報用分電盤内のタグは全てのケーブルに必要か？
		A	情報用分電盤内を通過するケーブルも含めて全てのケーブル（光ファイバ、LANケーブル、電話ケーブル、同軸ケーブル）にタグをつけてください。
62	課題 3	Q	19インチラックのパッチコードは巻いておくのか？
		A	はい。美観上好ましい処理を行ってください。
63	課題 1	Q	ボックスネジを短いものを準備していいか？
		A	OKとします。すべてのネジを持参材料とします。
65	課題 1	Q	らくわーくの保持バーを事前準備で切断していいか？
		A	設置段階で切断しておきます。万一切断されていない場合は、事前準備での切断をお願いします。
66	全 般	Q	予備の工具、測定器などは1名分ずつ準備が必要か。複数人数出場する場合は共用化してもよいか。
		A	予備品については共用化していただいても結構です。
67	課題 1	Q	情報用分電盤内部のケーブル保護は必要か？
		A	各自の判断をお願いします。
68	課題 1	Q	2連のスイッチボックスに取り付けられるCD管の位置は？
		A	自由とします。
69	課題 3	Q	パッチコードはケーブルホルダを通してよいのか？
		A	OKです。
70	課題 3	Q	パッチコードの作成において、P社のプラグをT社のコードに指定工具で成端した場合、コードの被覆がやぶれることがあるが、メーカーに確認したところ、やぶれることがあることを認めている。減点対象とならないか？
		A	減点対象としません。
71	全 般	Q	終了後に養生シートは片付ける必要はあるか？
		A	必要です。
73	課題 3	Q	ケーブルラック整線後にジャック成端をしなければならないか？
		A	<del>そうです。</del> 現場での施工を想定してお願いします。
74	課題 3	Q	パッチコードにタグは必要か？
		A	不要です。

75	課題 3	Q	110でインパクトツールの刃が出た状態でもコネクティングブロックの取り付けが可とメーカーのカタログに記載されているが、コネクティングブロックを取り付けるとコネクティングブロックを削ってしまう。これは可か？
		A	可とします。
76	課題 1	Q	情報用分電盤取り付け後に壁内部に触れることは不可とあるが、情報用分電盤の後ろも不可か？
		A	取り付け後に触れることは不可です。ただし、情報用分電盤に隠れる部分は通常の施工時も石膏ボードを開口することになりますので、その部分に触れることは可になります。
77	課題 2	Q	競技開始前のテープ心線の状況について、どこまで事前準備に含むのか？
		A	ケーブルから心線が自然に垂れ下がっている状態にしておいてください。競技委員が確認します。
78	全般	Q	測定器等の準備、電源投入は事前準備に含むのか？
		A	はい。全ての電気機器類は、電源投入しておいてかまいません。
80	全般	Q	終端されていないケーブルの識別処理(未終端側)は必要であるか？
		A	必要です。
81	全般	Q	社旗などの応援用グッズは持参してよいか？
		A	持参して構いません。会場内の壁面など設置場所を別途指示いたします。
82	課題 2	Q	採点ポイント算出の際に、接続数と距離のどちらが優先されますか？
		A	基本的に接続数からポイントを求めます。規定以上の損失があった場合は、距離によるポイント数でポイントを算出します。
83	全般	Q	ぐっとすのケーブル固定部からケーブル外被が外れてはいけないうか？
		A	不可です。
84	課題 3	Q	TO-6でインシュロック固定は必要か？
		A	不要とします。TO-4とTO-2のTELでは必要とします。
85	課題 1	Q	Fig. 5でCD管の位置を示す寸法はCD間の中心までか？端面までか？
		A	基本的に端面までですが、精度の高いものではありません。
86	課題 1	Q	TO-3の台木に取付方向はあるのか？(4cm方向が奥行きか？)
		A	Fig. 6に追記しましたので、必ずその方向(4cmが奥行き)で取り付けてください。方向を誤った為に裏側にネジが飛び出した場合は減点の対象とします。
87	課題 1	Q	スイッチボックスを壁面に取り付ける際に、4箇所のネジ止めが必要か？
		A	2箇所でも結構ですが、スイッチボックスにガタツキがないようにしっかり固定してください。

88	課題 3	Q	110の成端の際に、ケーブルスロットの外側でケーブルのシースをむいてもよいか？
		A	施工説明書に従って、ケーブルスロットの中でシースをむくようにしてください。
89	課題 3	Q	110トラフやブロックは、板に取り付けた状態で支給されるのか？
		A	現地で指示します。
91	課題 1	Q	ブランクチップは使用するのか？
		A	使用する予定です。
92	全般	Q	工具チェックとありますが、どういう工具は使用してはいけないのでしょうか？（リストなどがほしい・判断基準は？）
		A	今回は特にありません。
93	全般	Q	30%変更の考え方は？
		A	公開版（最終版）から30%を「上限に」変更します。
94	全般	Q	今回、光接続図が公開されていないが、これは30%に含まれるのか？
		A	含まれます。
95	課題 3	Q	TOで成端しない24対ケーブルのラベリングは、24対の外被に一括して行ってもよいか？
		A	実施工を想定し、後からTOで成端した場合に識別できるように一括して行っても結構です。
96	全般	Q	融着接続機等の機器は、二重に使わなければ複数準備しておいて構わないか？
		A	予備機をブース内に持ち込むことはOKですが、電源を投入しておいたり、BOXから出しておくことは禁止します。
97	全般	Q	支給される光ケーブルの長さはいくらですか？
		A	部材表Table3をご覧ください。
98	課題 2	Q	FOコードの長さに制限はありますか？
		A	制限はありませんが、測定の利便性を考慮し、2m～7m程度としてください。なお、距離に差が出る場合があるため、あらかじめ長さを確認致します。
99	全般	Q	マジックテープ、ラベリングツールの事前準備は？
		A	例年同様、すべての準備をOKとします。

100	全 般	Q	警告システムは導入されますか？
		A	導入します。詳細は、別紙（警告システムについて）をご覧ください。
101	全 般	Q	課題3は休憩なしですか？
		A	休憩を含めたコンタクトタイム（20分）を設けます。→詳細は、別紙（コンタクトタイムについて）をご覧下さい。
103	課 題 3	Q	配布されたFig.2のインドアケーブル数（Table1では10mと5m）も増減はありますか？
		A	あり得ます。
105	課 題 3	Q	前回あった15mケーブルはないのですか？
		A	ありません。
108	課 題 3	Q	U/UTPのメーカーはどこですか？
		A	別途指示どおりです。
109	課 題 3	Q	光ケーブルが10mと20mで支給されるようになっていますが、切り詰めは無ですか？
		A	原則的に切り詰めは禁止します。ただし、ケーブル外被処理や接続のためにケーブルが短くなることは可とします。作業しやすいように、たとえばm単位で切断することは禁止です。余長は適切に処理願います。
110	課 題 3	Q	余長について、壁面仮固定部が10m、後分岐成端箱～成端箱間が7mということでしたが、ケーブル露出部が7mですか？
		A	壁面仮固定部から成端箱間は10m「以上」、後分岐成端箱～成端箱間は接続部間が7m以上です。
111	全 般	Q	Doc.7で「加点は選択課題を含むすべての作業を」とありますが？
		A	訂正します。加点は標準課題の時間内作業によるものです。選択課題は終了する必要はありません。→別途配点を参照。
112	全 般	Q	30%変更による、Table1からの部材の増減はあるのでしょうか？
		A	新規部材の追加はありませんが、多少、数の増減は考えられます。
113	全 般	Q	選手が行う光の測定は課題に含まれますか？
		A	光測定は、選手が行うことは課題ではありません（必須ではありません）。ただし、競技委員は競技終了後に光損失測定を実施し、基準に従い評価します。→基準は未公開。
114	全 般	Q	競技開始前の事前準備で、LANケーブルを束ねる場合は、何本単位でもOKですか？
		A	OKです。

115	課題 1	Q	課題1と課題3が繋がらないとのことなので、LAN・TELケーブルともにCD管から出たところで巻いておいてよいですか？
		A	巻いておいても構いません。あるいは別の形で適切に処理しておいてください。
116	課題 5	Q	課題5の15リンクとは、U/UTPの単線が16本、撚り線が15本ということですか？
		A	そうです。
117	課題 3	Q	1次側、2次側を意識した場合、19インチラックとケーブルラック間を光ケーブルを配線することになる場合も考えられますが、問題ないですか？現場作業を想定すると違和感がありますが？
		A	現場的にはあり得ないこと(配置)かもしれませんが、想定していただいてOKです。ただし、配線が問題ないかどうかは各自判断願います。
118	課題 3	Q	かんたんSC のチューブは事前に切断してもよいですか？
		A	収納トレイまでチューブがあれば切りつめてもOKとします。事前切断もOKです。
119	課題 3	Q	J362のクロージャを取り付ける際に、架台に作業台を安定する台を取り付けてもよいでしょうか？また、それを作業終了後にそのままにしても良いでしょうか？
		A	取り付けて作業は構いません。ただし、作業終了後は取り外してください(取り付けたままでは作業終了と見なしません)。この場合、ケーブル導入数が2条のため、クロージャが傾くことがあります。OKとします。
120	課題 3	Q	光ケーブルがブースから出てはいけなとありますが、地下の架台の周りにで空中に少し膨らむことはどうですか？
		A	極端に出ていない場合は、OKとします。
121	課題 3	Q	フジクラ601-24SCのTMのトルクは取扱説明書通りですか？
		A	トルク管理は重要なことですが、競技では、適切に締められていればよいこととします(トルクは問わない)。
122	全 般	Q	ぐっとず(ジャック)の複数個一括成端(IDCキャップ閉め)はOKですか？
		A	禁止します。
123	課題 1	Q	課題1で同軸ケーブルのCD管への捕縛は必須ですか？
		A	必須です。適切をお願いします。
124	課題 3	Q	PanelBの背面のLANケーブルは6本ごとでまとめた方がよいですか？
		A	特に指定はなく、メンテナンス性、美観を加味した処理をお願いします(6本ごとにされるのは、メンテ性を加味した場合に見受けられることがあります)。
125	課題 3	Q	Cat.6プラグは、市販されているものであればどのようなものでもよいですか？
		A	市販されており、性能を満たすものであればOKです。→パッチコード性能試験を抜き取り検査で行う予定です。
126	全 般	Q	ラベリングの書き方はどのようなものが望ましいですか？番号だけか、区間も表記した方がよいのか？
		A	はい。どちらでも構いません(点数上の差はありません)。
127	全 般	Q	全てのケーブルにラベリングしなければいけませんか？
		A	各自の判断をお願いします。
128	課題 3	Q	課題3のFODB-4のケーブル導入口の指定はありますか？
		A	ありません。
129	全 般	Q	選択課題の公表時期は？
		A	「Doc.5」をご覧ください。

130	全般	Q	選択課題と標準課題は別にするとのことですが、標準課題には全く触らなくてもOKということですか？
		A	選択課題の一部では触ります。
131	全般	Q	課題1と3に取り付けるFODB-4の取り付け位置は、それぞれの課題において変更しても良いですか？
		A	良いです。課題3のスタート時には、FODB-4は取り外した状態とします。
132	課題1	Q	2連スイッチボックスのCD管取り付け位置は、左右どちらでもよいでしょうか？（正面パネル左側はBOX左にしか取り付けられない）
		A	良いです。
133	課題1	Q	CD管のゆがみは採点の対象となりますか？
		A	採点対象とします。
134	課題1	Q	スイッチボックス内でビスによりケーブルに傷が入ってしまう場合があるので、短いビスを使用しても良いでしょうか？
		A	短いビスの使用を可能とします。持参材料です。
135	課題3	Q	配線ラックにケーブルを整線したのちに、19インチラックでの成端を行う必要がありますか？
		A	19インチラック、配線ラックとともに、ケーブルの位置決め、簡易整線ができていれば、最終的な整線は成端後（最後）で構いません。
136	課題3	Q	FODB-3と4の取り付け位置は自由ですか（左右、高さなど）？
		A	自由です。ただし、FODB-3は縦に取り付けてください。
137	課題3	Q	光ケーブルは、FODB-3と4の間に巻きだめしてもよいですか？
		A	良いです。
138	課題3	Q	配線ラックの角での配線は曲がりかきつくなる可能性があります、ガイド等は必要ですか？
		A	ガイドのような部材は必要ありませんが、曲げ半径に注意してください。
139	課題4	Q	課題4の提出表には、記入例がありますか？
		A	あります。→公開された「課題4について」をご覧ください。
140	課題1	Q	TELケーブルは40m支給ですが、残りはすべて巻きだめですか？
		A	TELケーブルは必要長以外は、切断し廃棄でOKです。→公開された「メタルケーブル長」をご覧ください。
141	全般	Q	審査するOTDRの波長は？
		A	1.55μ mです。
142	全般	Q	警告システムの対象事項は公開されますか？違反事項に点差はありますか？
		A	原則公開しますが、公開されたもの以外にも警告を受ける可能性があります。違反事項の点差はありません。
143	全般	Q	測定器の持ち込みは可能ですか？事前に設定はしておいてよいですか？
		A	持ち込みは可能です。事前設定もOKです。
144	全般	Q	作業中に枠外にケーブルなどが出てしまう可能性があります、作業後に出ていなければ良いでしょうか？
		A	枠外にケーブルが出るのが可か否かの判断は、その作業が行われている場所が現場と想定した場合、実際に可能であるかどうかということもあります。地下クロージャの場合は、基本的に作業中においてもブース外でケーブルを取りまわすことは禁止します。

145	全 般	Q	選択課題終了時は、1つの選択課題ごとに終了報告をするのでしょうか？
		A	必要ありません。
146	全 般	Q	選択課題は事前申告制ですか？
		A	事前申告をしていただきます。申告されたもの以外は、できません。
147	課 題 3	Q	FODB-4を終了した後のFODB-3の後分岐ですが、FODB-3～4のインドアケーブル配線・接続もFODB-3の接続箱を取り付けた後ですか？
		A	そうです。FODB-3はFODB-4を取り付けた後に発生した後分岐の想定としますので、FODB-4にケーブルが固定され、FODB-3～4の配線ルートが決めた後に（その間は仮固定でもOKとします）、FODB-3関連作業を始めてください。ただし、FODB-4内で接続しているかどうかは問いません。
148	全 般	Q	全て接続終了後にワイヤマップエラーがあった場合に、正常に接続されたリンクは点数がありますか？もしくは0点ですか？
		A	0点です。ただし、モジュール化されている場合は、そのモジュールのみです。
149	全 般	Q	開始・終了時の工具箱、作業台の配置は決まりはないですか？
		A	ありませんが、作業中は工具箱・作業台により観客から作業が見えなくすることは禁止します（なるべく見えるよう配慮下さい）。
150	全 般	Q	選手の作業を後方から撮影したいのですが？
		A	ネットワークカメラを住宅ブース壁面に取り付け撮影することをOKとします（ただし、すべてのセットアップは各自でお願いします）。
151	課 題 3	Q	課題3での壁面での融着はありますか？
		A	当日配布される課題をご覧ください。
152	課 題 1	Q	課題1でチェックシートを記載し、提出する必要がありますか？
		A	ありません。
153	全 般	Q	接続箱等のふたは閉める必要がありますか？
		A	すべての蓋は閉める必要はありません。ただし、蓋はすぐ近くに置いておいてください（床面でOKです。作業台の上でもOKです。ただし、その作業台は採点終了時まで置いておいてください）。なお、作業上閉めた方が良いと判断される場合には、閉めていただいても結構です。
154	課 題 3	Q	D-リングは5個支給ですか？
		A	6個です。事前に各自取り付けをお願いします。
155	全 般	Q	TOやケーブルへのラベリングは手書きでも構いませんか？
		A	OKです。
156	課 題 1	Q	TELケーブルの心線径は0.4ですか？
		A	0.5mmを持参ください。
157	課 題 1	Q	同軸ケーブル、LANケーブル、TELケーブルのメーカーの事前公表は？
		A	持参材料となります。
158	課 題 5	Q	課題5では、1本ずつ作るという前提で、キャップの取り外しも2個ずつですか？
		A	そうです。
159	課 題 3	Q	FODB-3の心線ガイドを事前に取り付けておくことはできますか？
		A	ダメです。

160	課題 3	Q	Cat.6のプラグは、単線用でもよいですか？
		A	どちらでも可です。
161	課題 1	Q	同軸ケーブルの仕様は？
		A	S-5C-FBとします。
162	課題 3	Q	FODB-3の未使用心線は、袋に入れないでトレイに巻いておいても良いですか？
		A	取扱説明書通り、袋に入れておいてください。
164	全 般	Q	融着機の加熱時間や接続時間は、メーカーや型番により違いがありますが問題ありませんか？
		A	標準で市販されているものや設定であれば、可とします→融着時間は標準設定で、加熱時間は各自の判断で結構です。冷却時間中に取り出すことも各自の判断をお願いします。
165	全 般	Q	Q&Aは競技ルールと理解してよいですか？
		A	Q&Aは競技ルールですので、厳守してください。
166	課題 1	Q	課題1のFODB-4内での折り返しは、メカスプですか？融着ですか？
		A	当日指示します。
167	課題 1	Q	課題1の光検査はどのように行いますか？
		A	可視光チェックのみとします。
168	課題 2	Q	課題2の事前準備において、網組やチューブを利用したケーブル元の心線より分けはOKですか？
		A	OKです。
169	課題 3	Q	課題3の選択課題を行う場所はどこですか？
		A	課題1で設置されたCD管(ブースに向って左から3本)を撤去して行います(事前撤去)。
170	課題 3	Q	FODB-4の心線ガイドは必要数のみの取り付けでOKですか？
		A	OKです。
171	全 般	Q	光ファイバ心線の曲げ半径は？
		A	R15ケーブルの場合でも、すべてR30として取扱ってください(光コンセント以外)。
172	課題 3	Q	課題3での光の各接続の最大数は？
		A	融着8接続、メカスプ10接続、現場SC14接続とします。
174	課題 3	Q	課題3を開始する際に、外壁のCD管やケーブルは取り外しますか？
		A	CD管は外しません。ケーブルは邪魔な場合は、切断してもOKです(事前に)。
175	課題 1	Q	PanelBへのケーブルのインシュロック固定は必ず行わなければいけませんか？
		A	しなくてもOKです。
176	課題 1	Q	宅外からTOまで引き込む光ファイバ、LAN、TELのケーブルは、経由する情報用分電盤で一つのノックアウトから引き込んでもよいですか？
		A	OKです。

177	課題 1	Q	CD管から出たLANケーブル、TELケーブルはともに切断ですか？
		A	Fig.1、Fig.3が訂正されていますので、ご覧ください。
178	課題 3	Q	FODB-1のケーブル導入口はどちらからでも良いですか？
		A	OKです。
179	課題 3	Q	19インチラックと配線ラックの間の配線はどこまでするのでしょうか？（一番下まで配線するのか、ラックの一番下の桁までなど）
		A	曲げに配慮するため、下から2番目のの桁まで配線されていればOKとします。
181	課題 8	Q	スイッチボックスの穴あけは事前作業で良いですか？
		A	良いです。
183	課題 3	Q	FODB-3と4は、現実には別の場所に設置されているという想定で良いですか？
		A	そうです。
184	課題 3	Q	FODB-4内にインドアケーブルが配線される場合は、ケーブル処理を作業台の上で行うことはできますか？
		A	FODB-4の場合はOKとします。
186	全 般	Q	個別に照明を作業台に設置することはできますか？
		A	OKとしますが、各自、持ち込みをお願いします。
187	全 般	Q	材料は全て作業台に配置しても良いのでしょうか？また、開始直後に使用する工具・材料は作業台の上でも良いのでしょうか？
		A	「事前準備について」を参照してください。開始前に競技委員がチェックしますので、注意を受けた場合は片づけてください（警告対象外）。
188	全 般	Q	背面パネルのラベルとありますが、ケーブルのラベリングのことで良いのでしょうか？
		A	そうです。
189	課題 3	Q	課題3の最大接続数にはU-BOXの接続は入っていないのでしょうか？
		A	入っています。
190	課題 6	Q	課題1の(1)のケーブルは、導入口から入れるのでしょうか？
		A	MPの導入口を通して開放です。
191	課題 6	Q	課題1の(2)は同軸ケーブルを配管内に追い張りするのでしょうか？
		A	標準課題は配管の外ですが、選択課題は追い張りとします。
192	課題 6	Q	課題3の(1)はインドアケーブルを成端箱サイドから3本ずついれて6接続で良いのでしょうか？また、他端はどこまで配線するのでしょうか？
		A	3本のケーブルをループさせて3本ずつ導入してください。質問どおり、6接続になります。他端はありません。
193	課題 6	Q	課題3の(2)の取り付けたSCはどこに固定するのでしょうか？
		A	固定しなくても良いです。

194	課題 3	Q	課題3の(3)の接続線番はどれでもいいでしょうか？また他端はどこまで配線するのでしょうか？
		A	Fig.2内に指示します。他端はFODB-3近辺で開放です。
195	課題 3	Q	FODB-2での接続は入孔内のケーブルと思ってよいのでしょうか？
		A	そうです。
196	課題 3	Q	U-BOXの配置場所はどこでしょうか？
		A	19インチラック近辺であれば、問いません。
197	課題 6	Q	課題1の選択課題で、同軸ケーブルをスイッチボックス内で成端した場合、同軸ケーブルを傷つけてしまう可能性があります が、現減点の対象ですか？
		A	そうです。
199	課題 3	Q	ケーブルラック上でのケーブルの固定材料や固定方法がマチマチであるので、統一してほしい。
		A	ケーブルラックの配線には縦方向と横方向があることと、現場での施工を意識して判断してください(採点の対象です)。
200	課題 1	Q	DB-1でのMC-LANの据置処理について、CD管出口でのLANケーブルの余長処理方法は？
		A	壁面での巻きだめでOKです。
201	課題 5	Q	課題1の(2)をする際に、標準で取り付けけた同軸コードはとりはずすのですか？
		A	必ず取り外してください。チェックします(ただし、選択作業開始後)。
202	課題 3	Q	構内配線のメタル接続図は当日配布ですか？
		A	はい。
203	課題 3	Q	ケーブルラックの真ん中(ケーブルラックの下)は配線可能領域か？
		A	配線可能とします。
204	課題 1	Q	TOの水平方向の取り付け位置は、フェースプレートで合わせるのか、スイッチボックスで合わせるのか？
		A	すべてのTOはフェースプレートの上端で合わせてください(採点対象とします)。
205	課題 1	Q	らくワーク用の添え木をブースに取り付けた後に、TO-2を取り付けなければいけないか？
		A	そうです。添え木はあくまで柱の想定です。
206	課題 1	Q	標準作業終了時には、DB-1のふたは閉めるのか？
		A	必要ありません。
207	課題 1	Q	DB-1の背面で、ケーブルがクロスするのはOKか？
		A	適切であればOKです。
208	課題 1	Q	らくワーク設置時に板とらくワークの間に隙間ができてしまうのは良いか？
		A	減点対象とはしません。
209	課題 1	Q	らくワークの固定時に、ビスは2点打ちでもよいか？
		A	ガタつきがなければ良いこととします。
210	全 般	Q	19インチラックのパネル取り付けねじを持参してもよいか？
		A	使用するすべてのネジは、持参とします。

211	全般	Q	融着接続時の、心線の曲がりは警告対処となりますか？
		A	警告システムの対象とはしません。ただし、通常の採点の対象とはなりません。
212	全般	Q	多量のガーゼをアルコールで湿らした状態でガーゼを使用してよいでしょうか？
		A	良いです。
213	全般	Q	競技委員から当該指導員に対して事前の警告がされますが、各社の本競技責任者より、競技主査にルール違反選手をお伝えすることは出来ますか？
		A	できません。すべての警告対象事項は競技委員で判断します。
214	全般	Q	光接続箱などの配線・施工は、施工後の保守や再接続等についても考慮して行うべきですか？
		A	そうです。
215	課題 4	Q	測定器の設定も選手が行う必要がありますか？
		A	事前に設定したおいた状態で使用してもらいますが、確認作業は必要と思われます。
218	課題 6	Q	選択課題の部材は、ケーブルも持ち込みですか？メーカーは標準作業部材と同じでなければいけませんか？
		A	基本的には持ち込みです。Table1に記載されている仕様を満足していれば、種類は問いません。
219	課題 1	Q	選択課題のツイストペアケーブルの配線は、標準作業の配線とまとめて配線しても良いですか(出来型)？
		A	別に配線して、別にまとめて(整線して)ください。
220	課題 1	Q	DB-1の蓋を閉めると、ケーブルにストレスがかかる恐れがあるが、良いか？
		A	OKとします。
221	全般	Q	導通試験や通線作業など通常は二人作業のものは、課題上で行うと現場の施工と異なる作業方法になるが良いか？
		A	通常二人作業のものは、OKとします。
222	課題 1	Q	通常は(部屋が異なるので)TOごとに組立・成端していくことになるが、例えば、全てのTOのTELジャックを先にすべて取り付ける方法はダメか？
		A	ダメです。TOごとに施工してください(ケーブル切断含む)。ただし、CD管の取り付けやBOX,サドル取り付けなどは除きます。
223	課題 3	Q	FODB-4のケーブル予長は、120cmのものと110cmのものがありますが、統一できますか？
		A	110cm以上であれば、良いこととします。
224	課題 6	Q	選択課題のケーブルのラベリングは必要ですか？
		A	必要です。TO名は任意に記してください(標準と重ならないこと)。また、同軸の選択はきちんと表示してください。
226	全般	Q	違う場所で通常行っていると想定される作業は同時に行えないということで宜しいですか？
		A	そうです。

228	課題 1	Q	TO、スイッチボックス、シールドジャックなどの穴あけやバリ取りなどは事前準備で可能ですか？
		A	すべて可能とします。また、事前に穴あけ等をしたものを持参し、競技委員の確認のもと、支給材料と交換してもOKとします。
229	課題 1	Q	らくワークの添え木への取り付けは、右への取り付け、左への取り付けどちらでも良いですか？
		A	良いです。
230	全般	Q	前回同様、採点結果は、各課題終了時に公開されますか？
		A	その予定です。
231	課題 1	Q	情報用分電盤を取付けたあとに配管にケーブルをコネクタ作成等の作業の邪魔になる為、配管に仮固定しても宜しいですか？
		A	DB-1設置後は、できません。
232	課題 1	Q	通線機1台でコンセント側から同時に別々の配管へ通線してよいのか？
		A	基本的にコンセントは別々の部屋の想定ですが、1人作業ですので可能です。が、DB-1側からが理想です。
233	全般	Q	課題1の作業でケーブルラックを使用してもよろしいですか？
		A	ダメです。これ以外にも、本来使用する課題以外で設備を使用することは禁じます。
234	全般	Q	外側面の配管にケーブルの仮固定、もしくはケーブルを固定することは可能ですか？
		A	外壁面の配管はむき出し状態にあると仮定し、可能とします。
235	課題 3	Q	FODB-1のケーブル挿入に1次側、2次側はありますか？
		A	ありません。
236	課題 3	Q	Fig1ではOC-4、Table3 サンプルにはOC-6とありますが、Fig1及び材料表からケーブル名はOC-4と考えて良いですか？
		A	OC-6ではありますが、インドアケーブルですので、OC-4と同じ部材です。
237	課題 3	Q	Q182にて、別の場所に設置されているという想定とありますが、別の場所というのはFODB3-4間が直線的に7m離れた位置と想定し、OC-3(インドアケーブル)も同様に7m以上にするのですか？
		A	必要ありません。
238	課題 3	Q	Fig2サンプルにある様なFODB4でのインドアケーブル(折り返し接続)がある場合、ケーブル名(記号)は当日指示ですか？それともOC-4のイメージですか？
		A	OC-4のイメージです。ただし、FODB-4でループされるかどうかは不明です。
239	課題 3	Q	FODB1(2)で使用すると思われる光ビグテールの融着ですが、コード外被の処理(45mm部分)は？
		A	トレイまで外被が導入されていればOKです。もちろん、規定長でもかまいません。ただし、トレイ内で外被を収納することは禁じます。
240	課題 6	Q	選択課題(2)のフジクラ:FPB201での光ファイバ処理は、取扱説明書にて心線長を2.5mとの表記がありますがこの寸法での施工ですか？
		A	短くても構いません。3巻き以上されていれば良いこととします。
241	課題 4	Q	測定すべき項目の(4)障害点における損失値(dB)は、それとも測定器(フールク)の測定結果に出てくる値という認識でよいですか？
		A	そうです。最悪値のみでOKです。
242	課題 4	Q	測定すべき項目の(6)全損失(dB)とは光のみで良いですか？
		A	そうです。
243	課題 4	Q	仮に正しい設定でないと考えた場合には、各自再設定すること。上記は光の測定器という認識でよろしいでしょうか？
		A	そうです。もし、DTXが正しくない設定と判断した場合は、競技委員に申し出てください。認められた場合には、再設定を競技委員がおこない、競技時間を延長します。
244	課題 4	Q	設定時間は、競技時間内ですか？
		A	そうです。設定も競技時間内に含まれます。

245	全般	Q	Q&Aと別に配布されている競技ルールや課題の詳細の記述が矛盾している場合は、どちらが優先しますか？
		A	競技ルールや課題の詳細が優先します。
246	課題1	Q	予め取り付けられてあるサドルを競技中に付け替えることはできますか？
		A	作業上必要であるならば、位置を変えることは可能です。
248	課題3	Q	ブース内に時計を設置する際に、ケーブルラックなどを使用できますか(課題1のときなど)
		A	できます。
249	課題4	Q	課題1で選択作業に入る際には、掃除等しておく必要がありますか？
		A	課題1で選択作業に入る際は、標準課題が終了し選択課題に入る意思を示してもらえばOKとします。従って、確認作業や掃除などは選択作業を終了時に行えばOKとします。ただし、時間内に終わらない場合は、減点されます。
250	課題5	Q	選択課題B(課題1内)で同軸ケーブルの追い張りとは配管の中に同軸ケーブルを新設するということでしょうか？
		A	そうです。
251	課題6	Q	Q&Aの201番に同軸コードの取り外しとはどういうことでしょうか？標準で取り付けした同軸コードは撤去ということでしょうか？
		A	撤去し選択課題を行ってください。なお、最後にもう一度接続してください。
252	課題6	Q	選択課題D(課題3内)の接続ケーブル線番は当日指定と書いてありますが、ということはフリーケーブルの線番もわかっていないとこの選択はできないのでしょうか？
		A	そうなります。
253	課題6	Q	選択課題E(課題3内)で線番指定はありますか？線番関係なく繋いでいって問題はないのでしょうか？
		A	この課題では線番の指定という概念がありません。基本的にループとなります。
254	課題6	Q	選択課題Gはインドアケーブル相互の接続と解釈してよろしいのでしょうか？
		A	違います。後分岐ケーブルとの接続です。従って、線番指定もされます。
255	課題5	Q	課題5の「始点」というラベリングは持込ということでしょうか？
		A	持ち込みです。
256	課題3	Q	FODB-3、FODB-4、フジクラ(FTB-201)、住友電工(e-box pure)にいずれもインドアが導入されると思いますが、導入口に決まりありますか？
		A	ありません。
257	課題3	Q	FODB-1.2.3.4の蓋は事前準備の段階で外してしまっても構わないのでしょうか？
		A	禁止します。
258	課題1	Q	課題1の標準課題終了時は、DB-1の蓋を閉めなければいけませんか？
		A	必要ありません。
259	課題3	Q	光パッチコードから光ピグテールファイバに切断する処理は事前準備に入りますか？外被向きも入りますか？
		A	どちらも事前準備OKとします。また、あらかじめ加工したピグテールコードを持参することも可とします。
260	課題6	Q	選択課題E,Fでのループ配線処理の場合、インドアケーブルの両端の作業を同時に行うことができますか？
		A	この場合は、OKとします。また、仮に標準作業でFODB-4内でループ配線がある場合もOKとします。

262	課題 3	Q	接続箱等の蓋締め是件ですが、FODB-1・FODB-4は蓋がありますが、締めると減点ですか？
		A	減点とします。 <b>減点はありません。</b>
263	課題 3	Q	FODB-2での接続は入孔内のケーブルとはどういうことですか？
		A	孔内を想定しているということです。
264	課題 3	Q	3巻きとは、両端で3巻きと解釈して良いですか？片側1周半
		A	そうです。
265	全 般	Q	Table1のM42のCD管用サドル(選手が取り付けるサドル)の型番・メーカーは分かりますか？
		A	不明です。これは持ち込み可能とします。
266	課題 6	Q	M116のドロップケーブルの支持線は事前準備で剥ぎ取っておいて良いですか？
		A	良いです。
267	全 般	Q	M117のインドアケーブルですが、備考欄に1m選択用と書いています、m数は任意ですか？
		A	そうです。1mは目安です。
269	課題 6	Q	選択D一個口のアウトレット12個は持ち込みで考えて良いですか？
		A	そうです。
270	課題 6	Q	課題3の選択課題は標準と同時に行っても良い。となっているがGの選択の所では ※この作業は、標準作業内で可能 となっていますがそのほかは、どうなのでしょう？
		A	その他も、課題3に関するものはすべて標準作業内で可能です。
271	全 般	Q	保護メガネの着用は何時からでしょうか？(ケーブル処理時や接続時など)
		A	ケーブル処理時から必要ですので、光ケーブル作業全です。
272	課題 1	Q	課題1の選択課題Aは申告しないで良いのでしょうか？清掃は選択課題終了後で良いのでしょうか？
		A	全ての選択課題は申告の必要があります。清掃は選択課題終了後でOKです。仮に標準課題終了時点で清掃を行った場合でも、選択課題終了時には清掃を行う必要があります。
273	全 般	Q	事前準備でケーブルを巻きなおす時点で、何らかの識別タグ等をつけて良いですか？
		A	禁止します。
274	全 般	Q	インドアケーブル処理時や単心融着時に光ファイバーを口に銜えるなどの作業は良いのでしょうか？
		A	警告の対象となります。
275	全 般	Q	当日、19インチラック・ケーブルラックの固定をマジック・ステッカー等で補強をしても良いですか？
		A	OKです。
276	課題 3	Q	Q&A223でFODB-4のケーブル余長ですが、説明書には100cmもあるので100cm以上にして頂きたいのですが。
		A	100cm以上とします。
278	課題 6	Q	M117、M118、M120の備考欄に記載されているケーブル長では短いのでは？
		A	これらはあくまで参考値であり、必要長を持参いただければ結構です。
280	課題 1	Q	TO-3のカタログでは正面から見て、左側にTELパネル、右側にLANパネルになっていますが、逆でも良いですか？
		A	カタログどおりにしてください。
281	課題 1	Q	DB-1取付け前の通線時に台木にケーブル(LAN・TEL・同軸)を仮固定してもよいですか？
		A	OKです。

282	課題 1	Q	TOごとに施工とありますが、TOの作成を一箇所ずつ、プレート取付けまで行い、次のTOを作成していくという手順ですか？
		A	そうです。
283	全般	Q	光の工具類(ファイバカッター等)は作業前、作業後の清掃が無ければ警告でしょうか？また同一課題で作業場所が変わる場合にも作業前清掃は必要でしょうか？
		A	これは判断が難しいところもありますので、競技委員会での協議となります。ただし、同一課題で作業場所が変わる場合の清掃は必要ありません。
284	課題 6	Q	選択課題は30%変更ありますか？
		A	ありません。
285	全般	Q	コンタクトタイムの場所は選手、指導者すべての人が集まる場所ですか？
		A	全ての関係者が同じ場所に集まります。
286	全般	Q	会話は指定された場所から行えるのですか？
		A	コンタクトタイムの場では自由に話すことができますので、登録指導員は普通に会話ができます。
287	全般	Q	指定された場所に着いてからコンタクトタイムですか？
		A	違います。前半終了時刻より20分間です。従って、早く移動したほうが時間が有効に使えます(移動中は会話できません)。また、全員統一時間ですので、トイレ等の時間も含まれます。
288	全般	Q	他の選手の出来型を見学する時間はありますか？
		A	競技終了後13時10分～13時40分までを工具等の片づけ及び見学時間とします。選手は、他の選手のブース内に入り見学することができます(写真撮影可)。他の方の立ち入りはできません。13時40分以降は、許可があるまで会場内に入ることができません。
289	全般	Q	Fig.1の1次側、2次側の表示は、競技ブース内の位置的な関係も指していますか？
		A	メタルケーブルはケーブルラック側を2次側とします。光ケーブルはケーブルラックを通さないため、競技ブース内での位置的関係は定めませんが、1次側・2次側のケーブルであることを意識して配線してください。
290	全般	Q	電源はブース内にありますか？ない場合、電源リール等で他の場所から電源を確保することができますか？
		A	あります。できます。
291	全般	Q	ブースに向かって左側の壁と隣のブースまでの距離は前回同様のため、隣のブースに競技中立ち入ることは禁止ですか？
		A	競技中、故意でなければ多少隣のブースにはみ出すことは可能です。ただし、はみ出すことを前提にした作業は禁止します。また、隣のブースに工具箱等が置かれている場合は、それには触れないよう注意してください(逆にブース内では隣のブースを気にせずに自由に工具箱を置くことができます)。
292	課題 6	Q	選択G(後分岐でのメカ8個)の接続図は、今回は提示されますか？
		A	接続図を指示します。
293	全般	Q	今大会で使用するケーブルのほとんどが持ち込みということですが、光ケーブルやインドアケーブルで違うメーカーが混在してもよろしいですか？(例 光ケーブル10mをフジクラ、20mを古河電工)
		A	OKです。
294	課題 3	Q	課題3での光の各接続の最大数は昨年と同じでしょうか？
		A	同じです。
295	課題 3	Q	ジャンパ線は予め準備をしておいて良いでしょうか(ケーブル外被を剥いて心線だけの状態にしておく)
		A	OKです。
296	課題 5	Q	ぐっとすの一括成端は禁止ですが、キャップの取り外しは専用工具を使用してもよいか
		A	メーカーで市販されているものであればOKです。
297	課題 1	Q	Table1では課題1でのケーブル長は記載されていませんが、指定してもらえないでしょうか？
		A	指定します。
298	全般	Q	ケーブルの持参リストみたいなのは、提出しますか？それとも審査委員のチェックですか？
		A	提出していただくことにします。フォーマットは後ほど送付します。

299	課題 1	Q	TOの取り付けネジはガタツキがなければ、2箇所でも良いとありますが、光成端盤FODB-4はネジ止めが3箇所ありますが、2か所でもよいか
		A	2か所でOKです。
300	課題 1	Q	ケーブルの通線作業はDB-1側からでもコンセント側からでも支障は無いと思われませんが、規定があるのでしょうか
		A	今回は無しとします。
301	課題 1	Q	MMP(DB-1)の電源孔は使用しても良いのでしょうか？
		A	使用して構いません。
302	課題 3	Q	Cat6パッチコードの試験は全数チェックですか抜き取りチェックでしょうか、また、フルークを使用し、Cat6のパッチコードの規定での試験でしょうか
		A	全数チェック or 抜き取りチェックです(非公開)。少なくともリンク試験をする予定です。パッチコード単体で試験をするかどうかは検討中です。
303	課題 3	Q	SF/UTPケーブルの被覆剥きで、ストリッパで一括で中の編組とフォイルにまで切れ目を入れて被覆剥きを行っても良いのでしょうか
		A	品質が担保できるのであれば、お任せいたします。
304	課題 3	Q	19インチラック前面の整線のためマジックテープ以外で工夫しても良いのでしょうか？
		A	構いません。ただし、市販されているトラフ等を使用することは禁止します(支給物品以外の物品の使用(消耗部材除く))。
305	全 般	Q	蓋がある成端箱(MMPも含む)蓋を閉めるものを決めてもらえないでしょうか？
		A	全ての箱の蓋は閉めなくてOKです(FODB-1など必要に応じて閉めても構いません。)
306	課題 3	Q	19インチラック背面の光ケーブルの配線ですが1次側と2次側のケーブルは一緒に巻く事は出来ないのでしょうか？また、結束はできないのですか？同じ部屋の中と想定すると結束は可能とおもいますが。
		A	一緒に巻くことは構いません(結束含む)。ただし、それ以降の配線経路は明確に分けて下さい。
307	全 般	Q	事前準備は材料以外で品質を落とさないのであれば工夫してもよろしいのでしょうか？
		A	可能ですが、競技委員で事前チェックします。不可の場合、やめてもらうこともあります。
308	課題 2	Q	課題2のケーブルが自由であれば課題5のケーブルも通信興業かパナソニック電工選べないでしょうか？
		A	これは支給します。単心はパナソニック電工製、撚り線は通信興業製とします。
309	全 般	Q	袖壁での作業中に部材を両面テープ等で取り付けてもよろしいのでしょうか？(作業後に部材は撤去します)
		A	露出している壁ですので自由に作業してください。
310	課題 5	Q	作成リンク数が無制限ですが、リンク数の点数の差はどうなるのでしょうか？
		A	検討中です。後日公開します。
311	課題 6	Q	チェックリスト使用する場合標準作業内でしょうか？選択後に行っても良いのでしょうか？
		A	作業点検のことですね。標準作業内をお願いします。
312	全 般	Q	持参した各種ケーブルに、剥ぎ取り長のマーキングやケーブル識別のためのテーピングなどを行っても良いですか？
		A	禁止します。警告対象とします。
313	全 般	Q	配布された図面は、競技開始前に見ることができますか？
		A	競技ブース内においてのみ、競技開始前に見ることができます。当然のことながら、他者との会話は禁止します。また、図面が見学者に見えるようにすることも禁止します。
314	全 般	Q	インドア等は10mや5mで持ち込まないとダメですか？各社成端サイズは決まっていると思いますので、任意長にすることは可能ですか？
		A	同一長さでの開始としたいため、指示された長さでの持ち込みをお願いします。
315	全 般	Q	第46回のQ&A(No. 42)に追加質問ですが、情報分電盤取り付け後は、施工不可になっています。ルール上は、TO取り付け後も配管に触ってはいけないはずなのですが、同軸の配線の際は、触っても問題ないのでしょうか？それとも、TO固定前に同軸の配線はしなければならぬのでしょうか？
		A	TOを組み立てる前であれば同軸ケーブルは配線できます。

316	課題 1	Q	部屋が異なる場合は、TOごとに作成となっていますが、なぜ、CD・BOX・サドルについては例外になるのか、理由を教えてください。
		A	現実的には全ての作業は二人作業となりますが、1人作業の競技課題として現実的な作業方法を選択した結果です。
317	課題 1	Q	パッチコードは、導通していれば、被覆等は問題ないのでしょうか？美観点等で減点されるのでしょうか？
		A	美観以外の配点でも減点されます。
318	課題 1	Q	TO内でLANケーブルを取り回す際も、曲率半径は必要だと思います。しかし、コネクタ根本の曲率半径は、BOXの奥行きを考えると取れません。どこまで採点対象になるのでしょうか？
		A	仰る問題がありますので、極端でない限り、採点対象とはなりません。過去の事例などを参考にして下さい。
319	課題 3	Q	ケーブルラック上でのケーブル(光ケーブル、LANケーブルとも)の固定材料や固定方法がマチマチである。統一して欲しい。
		A	これは、各選手の判断ですし、工夫すべきポイントでもありますので、各自ご判断ください。
320	課題 3	Q	Fig.1(8月30日改訂版、Ver2008.9.29版)で、DB-1箇所でMC-LANが据え置き処置となったが、CD管出口でのLANケーブルの余長処理方法を明確にして欲しい。
		A	上記同様、各選手の判断ですし、工夫すべきポイントでもありますので、各自ご判断ください。
321	全般	Q	作業中は、観客に見えるように作業するようになっていと思いますが、背中を向けて、観客に見えないように作業すると減点若しくは警告の対象になるのでしょうか？
		A	可能な限り、そうしてほしい、ということであって、警告の対象とはなりません。ただし、課題2、5は除きます。
322	課題 1	Q	メタル及び光を配管に通線する際に、先端を折り曲げて通線器に通します。この先端は、張力がかかっているため切り飛ばさなくてはならないのでしょうか？
		A	基本的にはそうです。
323	全般	Q	同一課題中に、同一作業台を使用する場合、光の心線屑が落ちている作業台で、清掃せずにメタルの作業を行うことは、不安全作業で減点対象になるのでしょうか？
		A	なりません。そもそも、心線屑が落ちている時点で安全とはいえません。
323	課題 3	Q	TO-7の施工方法は、各自の判断で良いか(ピグテール長など)
		A	はい。
325	全般	Q	課題3の支給のモジュージャックは持ち込んで交換しても宜しいのでしょうか？
		A	はい。ただし、交換する際は競技委員に申し出て確認を受けてください。
326	全般	Q	FODB1～4の蓋を必要に応じて閉めてもよいとありますが、FODB1やTO-7は閉めたまま終了してもよいのでしょうか？
		A	はい。
327	全般	Q	作業開始前には作業台の上には何も置いてはいけないのは開始何分前でしょうか？
		A	開始直前(開始直後)です。
328	課題 5	Q	課題5の支給が22.5リンク分ですが、点数表では23リンクですがジャックは23リンク分支給されるのでしょうか？
		A	はい。ケーブル数を訂正します。(ジャックは持参品です)。
329	課題 5	Q	課題5での点数ですが、最後プラグで終了した場合基本ポイントより1減ずるとありますが、20.5リンクの場合20リンクのポイントから1減ずるのか、21リンクのポイントから1減ずるのかどちらでしょうか？(後者だと思うのですが)
		A	21リンクです。従って、20リンク分のポイントとなります。つまり、小数点がなくなるという意味です。
330	全般	Q	FODB-1とTO-7は、FODB-4とFODB-3と同様、別場所での施工と認識してよろしいですか？
		A	はい。
331	課題 4	Q	トラブルシューティングでの、測定コード等の片付け時間は、競技内に含まれますか？
		A	いえ。片付け時間は一切含みません。つまり、片づけはしなくても結構です。
332	課題 4	Q	トラブルシューティングでの、電卓の持ち込みは可能ですか？
		A	はい。

333	全般	Q	工具展開の時間ですが、現在、22日の朝9時から11時までとなっておりますが、その間に抽選・説明・展開は厳しいかと思われます。前年度同様、開会式終了後の展開時間を19時ころまでとっていただけると助かります。
		A	そうします。開会式後も準備時間を設けます。
334	全般	Q	1日目終了後に、1日目の機材の搬出と、2日目の機材等の搬入が必要になりますので、最低でも1時間強程度の、片付け準備時間をいただきたいのですが、ご考慮いただけますでしょうか？
		A	はい。設けます。
335	全般	Q	配点票の公表はありますか？
		A	前日までには公開します。(基本は昨年度と同じ)。
336	課題1	Q	課題1の選択課題(課題6)Bの同軸ケーブル追い張り分の同軸ケーブルのレングスが載っていませんが何m持込でしょうか？
		A	必要長でお願いします。
337	課題4	Q	課題4トラブルシューティングのアンリツ製OLTSの型番を教えてください。
		A	OLTSはOTDRのオプションとして準備します。光パワーメータオプション(MT9082B-004)です。
338	課題4	Q	OTDRの型番は？
		A	MT9082B-053(1.31/1.55)、ファームウェアはVer.4.01です。
339	課題4	Q	OLTSは単純に光源のことを指しているのでしょうかそれとも光ロステストセットのことを指しているのでしょうか？
		A	光ロステストセットです。
340	全般	Q	今回は光線路試験を行う可能性があるのでIDテストの送受信を持ち込んだほうが無難でしょうか？
		A	お任せします。
341	課題3	Q	課題3の壁面作業をする際に横幅60cmの背面ブース側のコンパネを使用して配線しても良いのでしょうか？
		A	駄目です。
342	課題6	Q	選択作業(課題6)DのTO-6は持ち込み部材ですがジャックとフタを取り外した状態で競技を始めても問題ないでしょうか？
		A	駄目です。
343	課題6	Q	選択作業(課題6)Eでは接続する心線の指定はあるのでしょうか？例えばループした同一ケーブルの同一心線同士を繋ぎなさい等
		A	当日までに指示します。
339	課題6	Q	選択作業(課題6)Gは接続する上部側ケーブルの線番指定はあると思いますがインドアケーブルも同様でしょうか？ケーブル側心線とインドアケーブル1番(青)2番(黄)どちらでも繋がってる状態だったら良いのでしょうか？
		A	当日までに指示します。
340	課題3	Q	課題3の全ての選択課題は終了を宣言をする必要なく移行しても問題ないということですよね？
		A	はい。
341	全般	Q	Q&A172に、メカスプ10接続とありますが、fig1の図面でOC-3(10m)が2条とあり、2条使用すると、メカスプの接続数などが最大数をオーバーしてしまいますが、最大数が増えるのでしょうか？
		A	Fig.1はあくまでサンプルです。最大数を超えることはありません。
342	全般	Q	ブースについての質問ですが、一部カーペットの上にブースを設置するようになっていますが、カーペットの上に直に設置するのでしょうか？清掃の際、ホウキでは心線屑がカーペットにからまり取りづらく、掃除機の清掃でないと無理だと思われます。他のブースはホウキで清掃すると思いますが、掃除機を使用する場合、時間がかかり不利になると思われます。事前に、ベニヤ板等でカーペットの養生はされるのでしょうか？
		A	現地での状況は現在不明です。何らかの対策を取ります。
343	課題4	Q	OLTSは、持込可能となっておりますが、2部屋で競技を行うと思いますので、2台組を会社で共有することは可能ですか？
		A	はい。その場合は、事前にお知らせください。順番について配慮します。
344	全般	Q	機器類を大会中、会社で複数選手の予備機として共有出来るようになっておりますが、もし想定外の故障等で発生したトラブルに関して代替機が必要となった場合、交換するためのロスタイムの措置はいただけますか？
		A	検討します。

※番号欄が黄色になっているものは、警告対象項目。

※番号欄が黄色になっていないものは、警告対象ではないが、減点対象ではある場合があるので注意すること。

## 第48回技能五輪全国大会Q&amp;A

## Doc.6

1	課題 1	Q	光インドアケーブルの長さは何mですか？
		A	Table2を確認してください。
2	課題 1	Q	光課題時にSWBOXの取替えになっていますが、BOX取替えまでは壁が無いとの判断でよいでしょうか？
		A	SWBOXの取り換えは行わないことにします(説明会時と異なる)。従って、SWBOX取り付け後は壁があるという状況での施工になります。
3	課題 3	Q	Fig1に1次側と2次側の記載がされていませんが、光ケーブルの配線ルートに1次側と2次側の指定はありますか？
		A	あります。データセンター側(19インチラック)が1次です。ただし、19インチラックには、FODB-1からのケーブルが引き込まれますが、そこは2次側となります。つまり、混在します。従って、厳密には分けることができませんので、採点時には考慮します(が、施工時に意識しなくて良い、ということではありません)。
4	課題 3	Q	パネルFの導入孔に決まりは、ありますか？
		A	ありません。
5	課題 1	Q	外線のケーブル(telのみ)ですか？
		A	外線は、TELケーブル及びLANケーブルとします(説明会時と異なる)。
6	課題 1	Q	外線TELはMMPの加入回線の所で良いですか
		A	昨年度どおり、ひらいてねっとで戻すことにします。
7	課題 3	Q	外壁での作業は、外での作業と想定すべきですか？(ヘルメット等の着用は？)
		A	仕上がり(出来型)は外にあることを意識すべきですが、作業時には意識する必要はありません(ヘルメット等の着用は必要ありません)。
8	課題 1	Q	宅内メタル60分終了時の養生の片付けと、15分のインターバルでの作業台の準備は可能か？
		A	基本的に、選手はインターバル中もブース外には出られません。会話も禁止です。ブース内での準備であれば可能です。
9	課題 1	Q	宅内光の通線作業は、撤去ケーブルでの通線は可能ですよね？
		A	可能です。予備線を通しておくこともOKです。
10	課題 3	Q	Panel-F(古河パネル)は、添付品(収納・グロメット)がバラであります。スタート時は全て装着した状態で良いでしょうか？
		A	OKです。
11	課題 3	Q	Panel-Fの取り扱い説明書は日本語で提示されますか？
		A	日本語版はありません。
12	課題 3	Q	Panel-Fのグロメットは添付品がケーブルスカスカで、別添で来たグロメットはそこそこの固定力なのですが対応はどうなさいますか？
		A	別添でのグロメットを使用してください。また、基本的にテンションを止める構造にはなっていないので、各自の工夫をお願いします。
13	課題 3	Q	TO-9(U-BOX)での収納で、以前の採点表には、2ターン以上収納とありますが、これは無しで良かったですか？
		A	少なくとも1ターン以上収納してください。
14	課題 3	Q	ケーブルルート問題ですが、以前、19インチラックの光ケーブルの輪だめが、同時にタイラップで固定したら減点をされましたが、今回も同じですか？別々に固定となると、TO-9等のケーブルは別場所からの同一場所へのケーブルになります。
		A	同じです。

15	課題 3	Q	壁面の取付位置ですが、FODB-2の取付位置が上から50cm以上、TO-8の取付位置が下から80cm以下位で良いですか？
		A	別途公開しますが、概ね結構です。
16	全般	Q	ケーブルラックに図面を貼り付けて、19インチラックで施工するのはダメなのですか？こちらの言い分は、ケーブルラックは19インチラックの隣にあるために作業範囲内ではないかと思うのですが。
		A	本大会から、同一課題で使用する架台等はすべて使用できることとします(図面の貼り付けのみ)。
17	全般	Q	ケーブル準備時の仮固定の仕方に決まりはありますか？
		A	そのまま配線できるようにまとめることは禁止します。また、仮固定しているマジックテープ等をそのまま使用することも禁止します。
18	課題 2	Q	光のスピード競技時の、OTDRの使用台数は何台でも構いませんか？
		A	1台のみの使用とします。
19	課題 5	Q	課題4と課題5の選手の入替時ですが、今回はトラブルが終わっても隔離されているのでしょうか？
		A	はい。他の選手や指導員等と接触ができないように別室で待機してもらいます。ただし、その際に課題5の練習等はできるようにします。
20	課題 1	Q	宅内(メタル)60分終了時の出来型の確認はどうする予定でしょうか？光が終わってからの出来型であれば、メタルで適当に終わらせて、終了し、光で決めることが可能だと思われます。
		A	迅速に競技委員が採点ポイントのみ確認します。また、写真等により出来型を保存します。そのポイントを光課題時に触れることは禁止します。
21	課題 6	Q	選択課題ですが、これは光の時間に行ってもOKですか？また、他の作業もメタルの延長として光の30分で行って大丈夫なのでしょうか？
		A	選択課題を光課題時に行うことは可とします。ただし、メタル標準課題を光課題時に行うことはNGです。
22	課題 1	Q	今回の標準課題は、LAN5本が入るので、撤去しなければ選択課題の4本を導入できませんが、大丈夫でしょうか？TELも(LAN,LAN,TEL)の標準課題が入るので、ポートが順不同になりますが、空きポートに入れる考えで良いですか？
		A	別途指示します。ポートは空きポートを使用することで構いません。
23	課題 1	Q	光課題は2連のスイッチボックスを撤去し1連のスイッチボックスを取り付け光コンセントを取り付けるものと解釈しておりますがその際の既設ケーブルはどのような処置になるのでしょうか？(撤去？スイッチボックス内で残置？)
		A	スイッチボックスの入れ替えは行わないことにします。
24	課題 3	Q	FITEL製のパネルFは24心ケーブルを2条固定するにはゴムパッキンが1つ不足するようですが別途購入可能でしょうか？
		A	確認します。
25	課題 3	Q	パネルF内の接続はOC-7とOC-6の4心一括接続ではないのでしょうか？
		A	Fig.2をご覧ください。
26		Q	
		A	
27		Q	
		A	
28		Q	
		A	
29		Q	
		A	

## 各課題の配点

(案)

課題1:20点 課題2:15点 課題3:45点  
課題4:10点 課題5:10点 課題6:15点

※課題1～課題5の合計は100点である。

※課題6(選択課題)を加えて合計点は115点となる。

## 時間加点

時間内作業での加点は以下のとおりとする。

◆課題1:標準時間(90分)内終了 :加点(0点)

15分前(75分)内終了:加点(1点)

◆課題3:標準時間(255分)内終了 :加点(0点)

30分前(225分)内終了:加点(1.5点)

※作業加点を得ようとする者は、作業終了の申告を挙手により行うこと。なお、申告した場合でも採点時において課題が完了していないと判定された場合には加点されない。

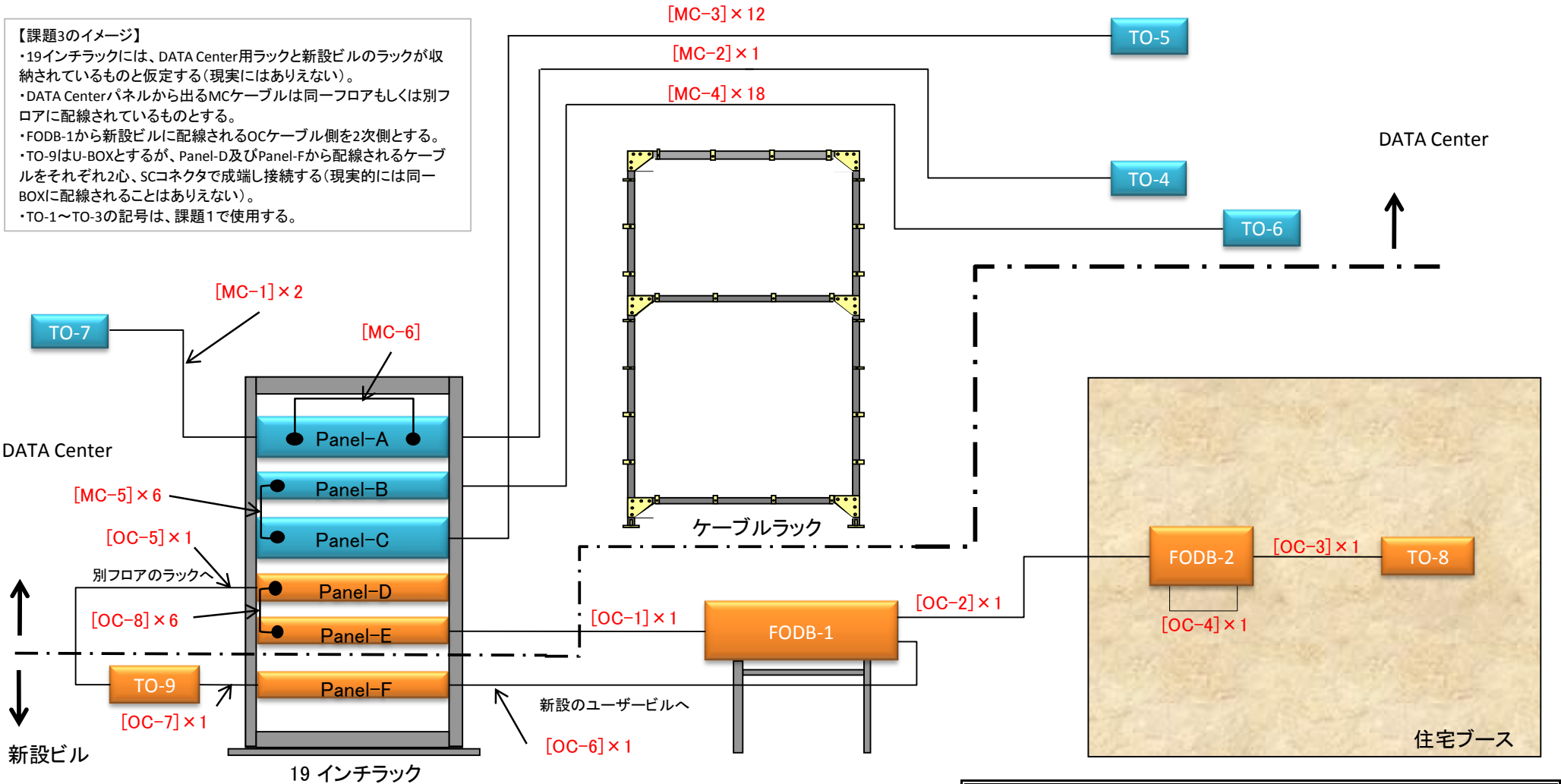
※作業終了を申告した場合には、それ以降、その課題に手を触れることはできない。

※上記の加点は、選択課題を含むすべての作業を終了した者に与えられる。

本図面は、概要図であり詳細は各Figを参照のこと  
従って、ケーブル数、成端位置等は必ずしも正確ではない。

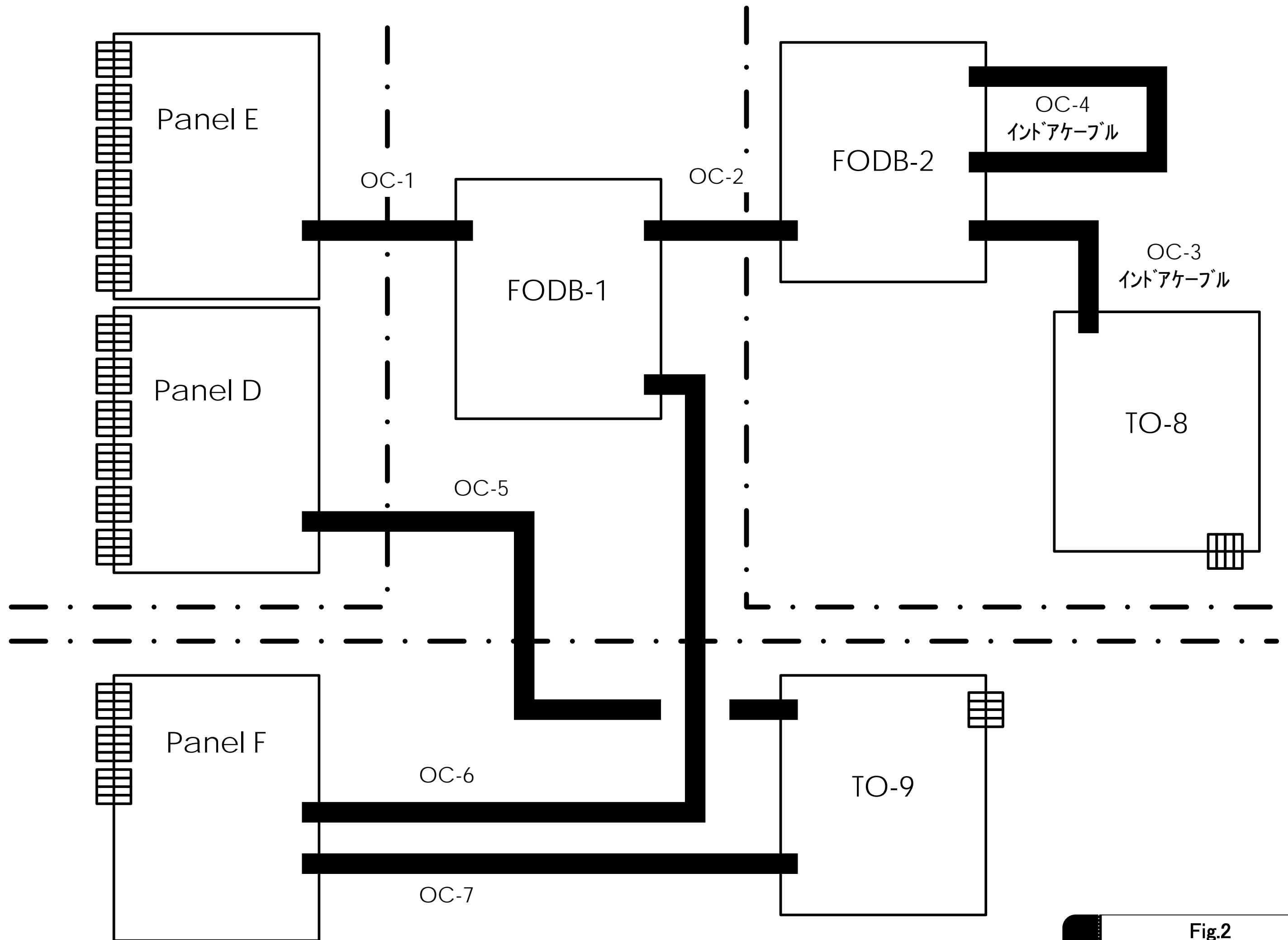
Fig.1

- 【課題3のイメージ】
- ・19インチラックには、DATA Center用ラックと新設ビルのラックが収納されているものと仮定する（現実にはありえない）。
  - ・DATA Centerパネルから出るMCケーブルは同一フロアもしくは別フロアに配線されているものとする。
  - ・FODB-1から新設ビルに配線されるOCケーブル側を2次側とする。
  - ・TO-9はU-BOXとするが、Panel-D及びPanel-Fから配線されるケーブルをそれぞれ2心、SCコネクタで成端し接続する（現実的には同一BOXに配線されることはありえない）。
  - ・TO-1～TO-3の記号は、課題1で使用する。

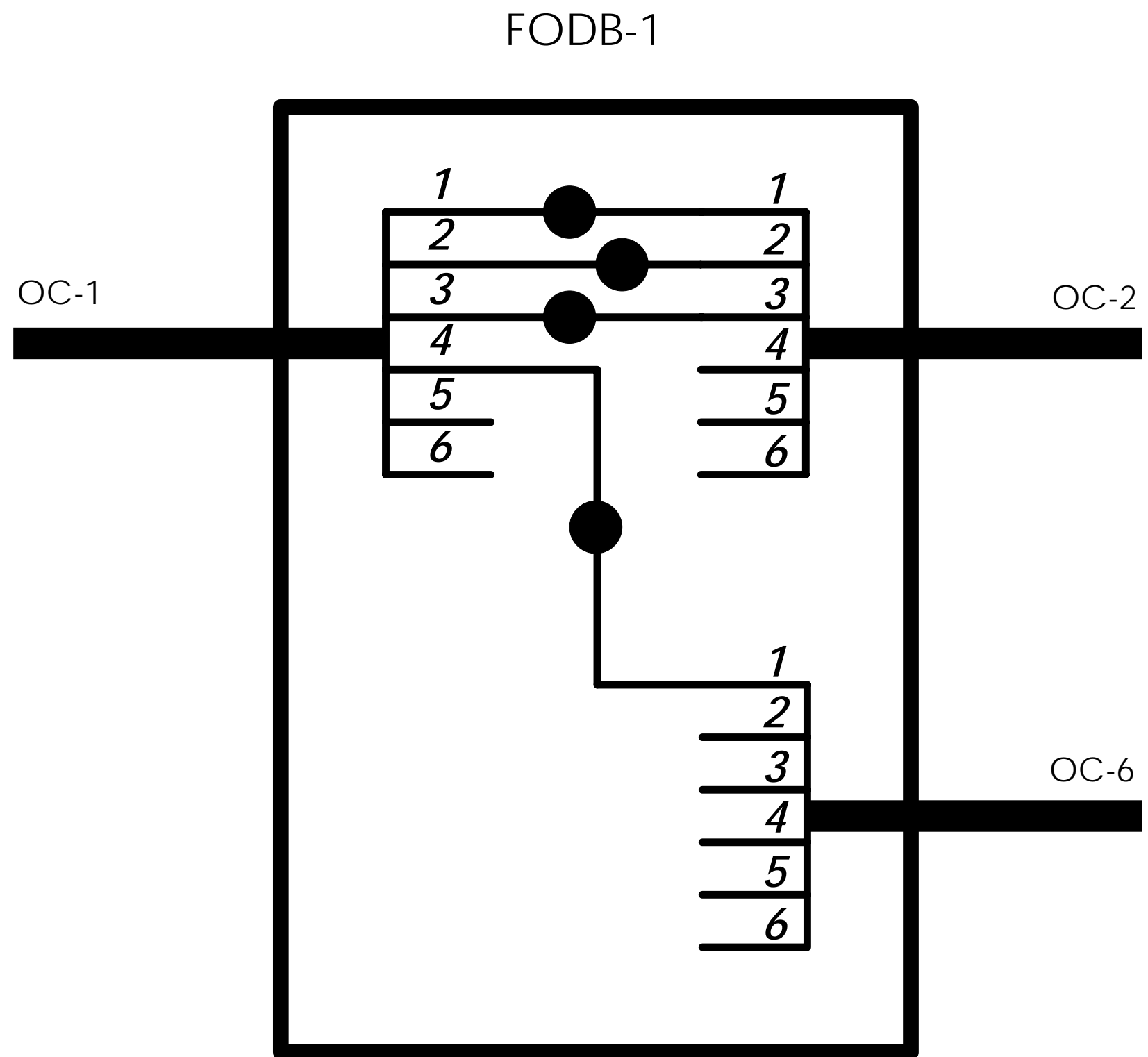
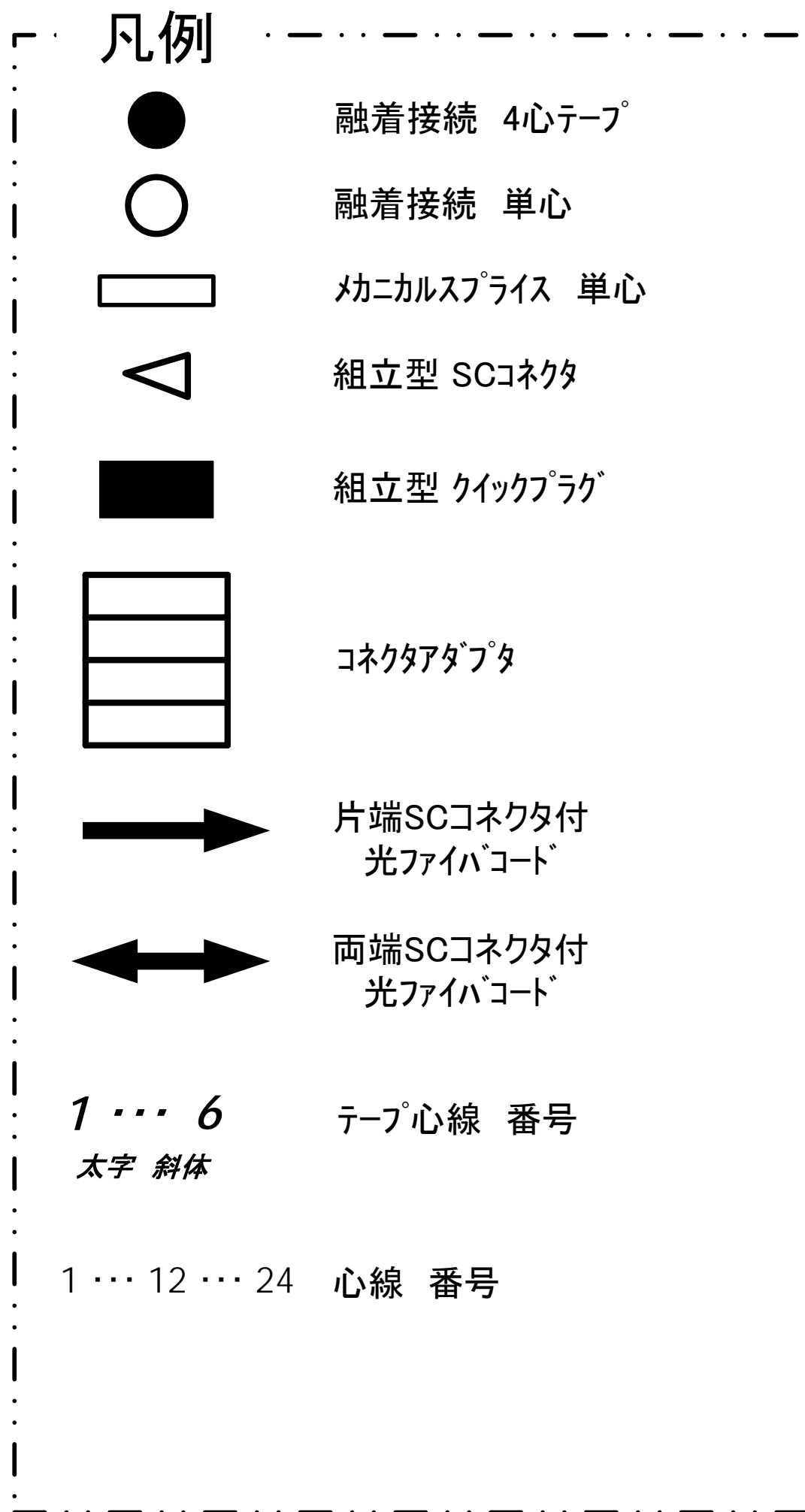


- 凡例
- OC :光ケーブル MC :メタルケーブル  
TO :Telecommunications outlet  
FODB :Fiber optical distribution board  
DB :Distribution board

Ver.	2011/7/7
TITLE	課題概要図
情報ネットワーク施工	課題3



<b>Fig.2</b>	
OUT LINE	2010/09/01



**Fig.2**

FODB-1	2010/09/01
--------	------------

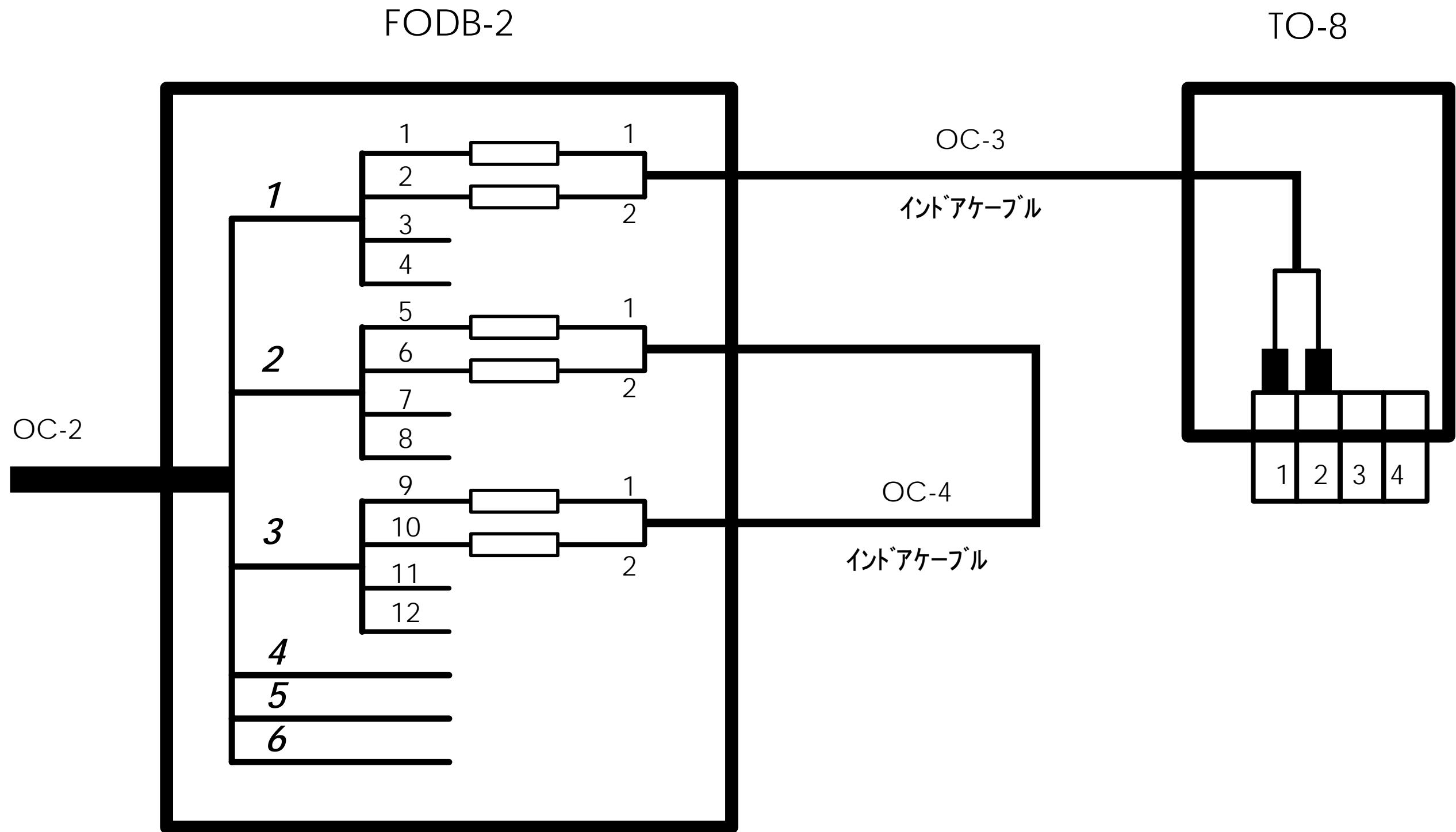


Fig.2

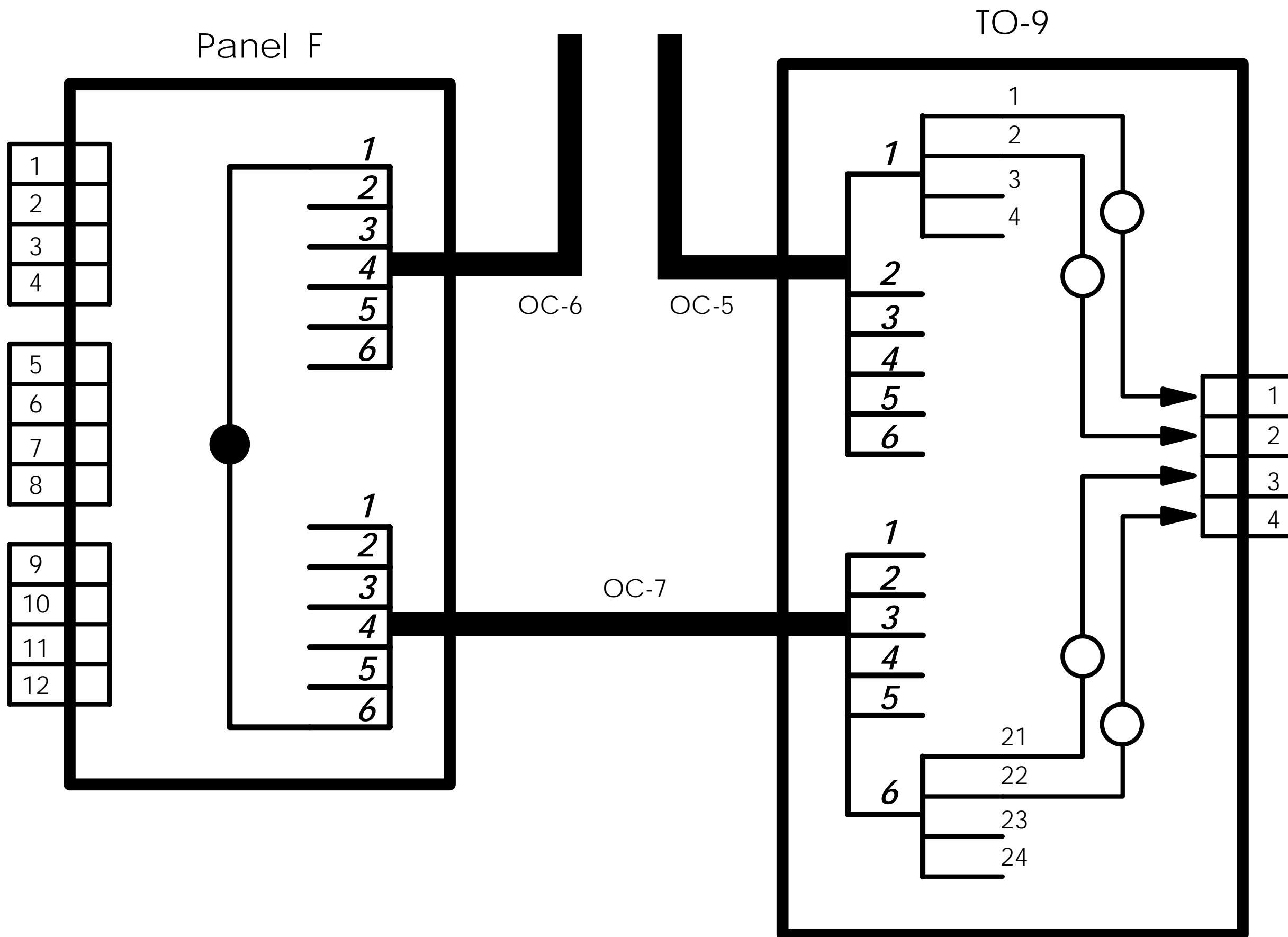
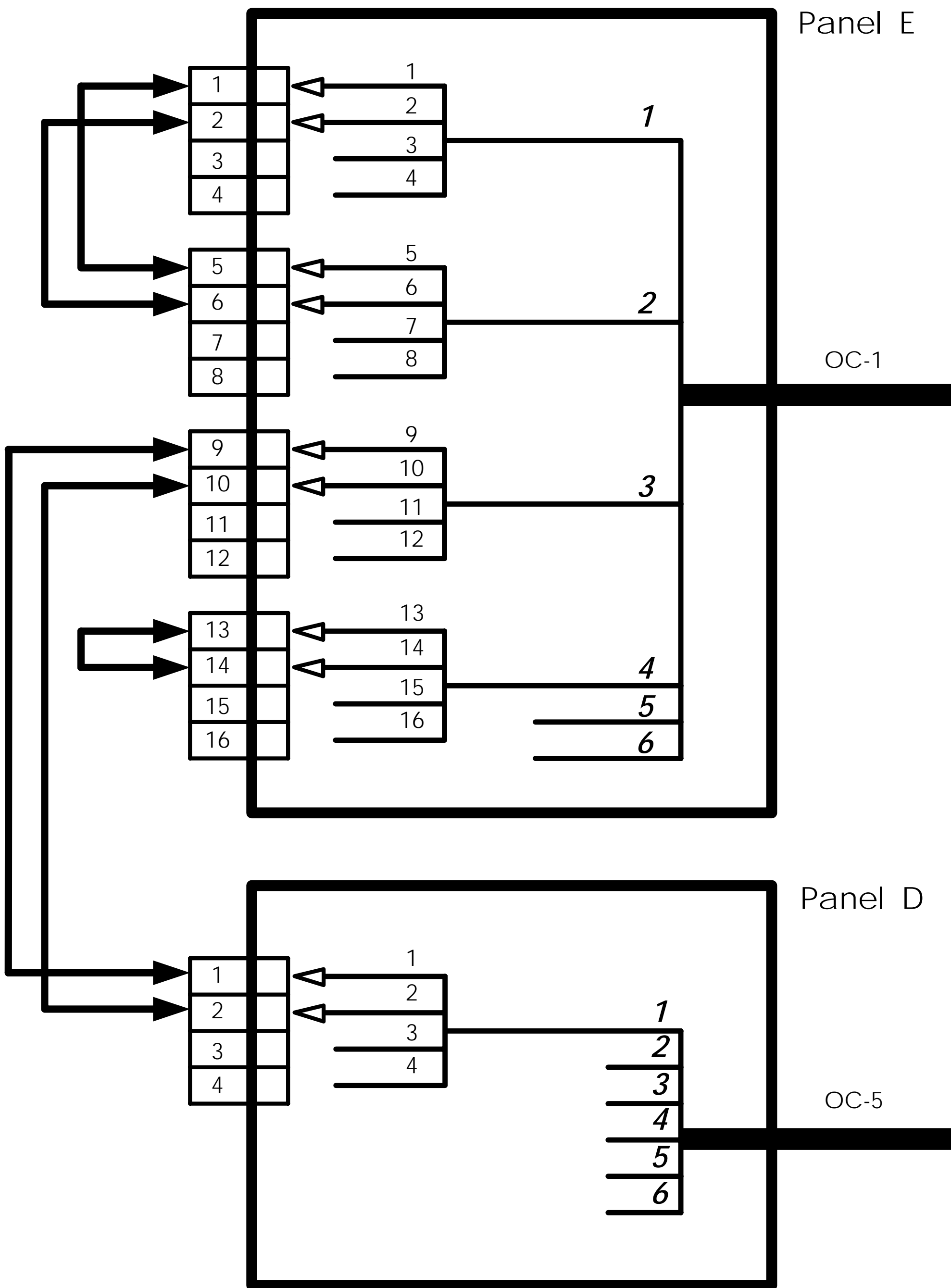


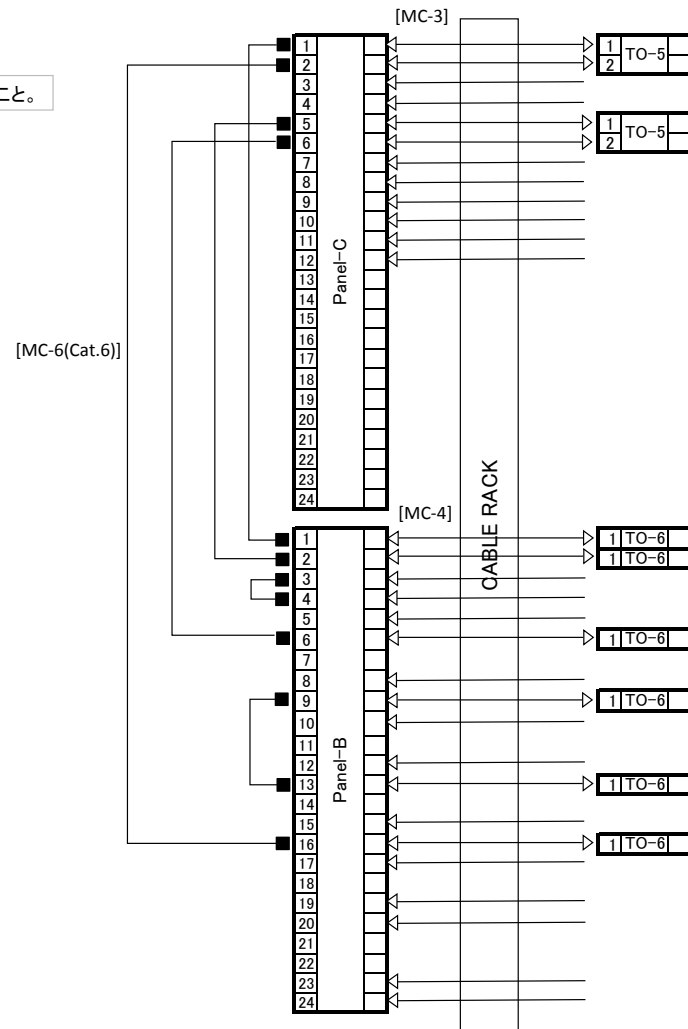
Fig.2



<b>Fig.2</b>	
Panel-D/Panel-E	2010/09/01

Fig.3

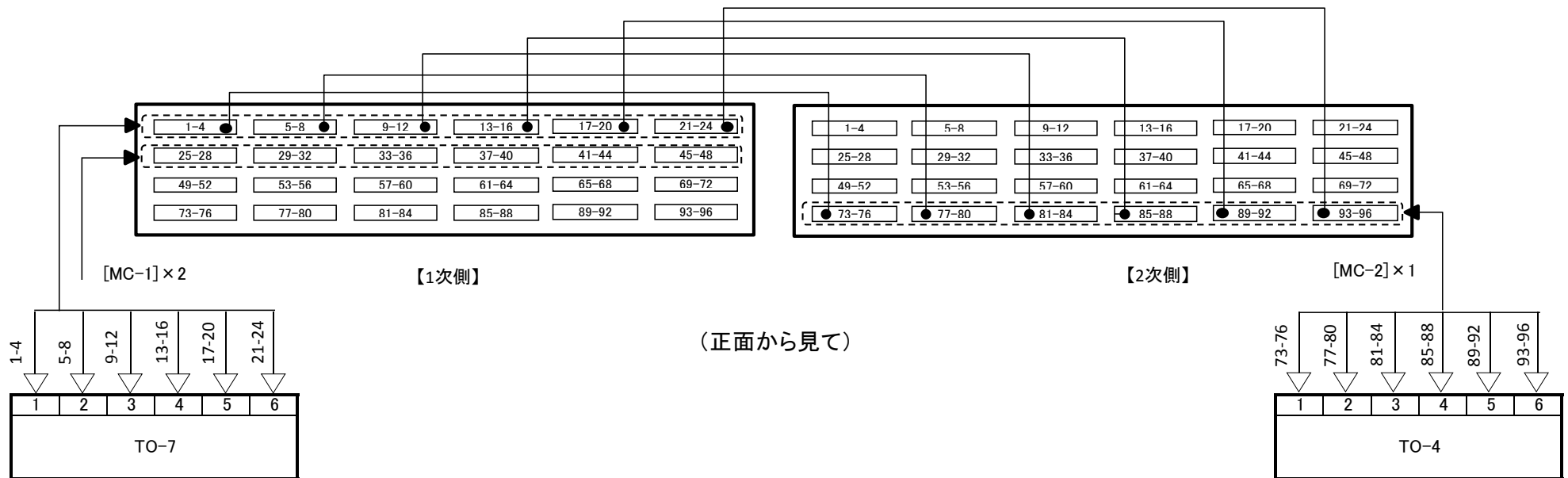
選択課題BはPanel-Cの17～24番ポートに接続すること。



Ver.	2011/7/7
TITLE	メタル配線図
情報ネットワーク施工	課題3

Fig.4

(正面から見て)

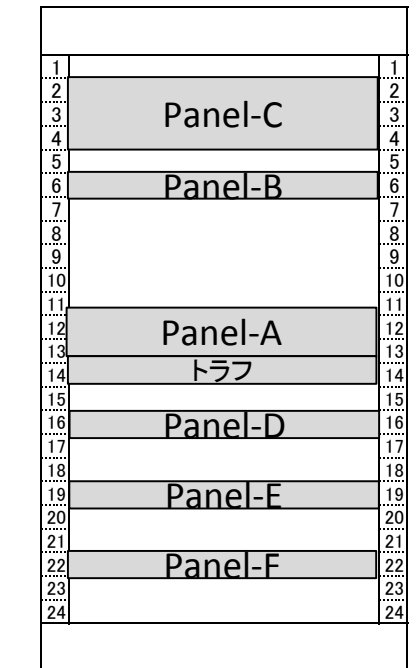


## 凡例

- ◁ : モジュラジャック成端
- — □ : パッチコード
- : 成端ブロック位置
- 1-4 : 成端ブロック(110)と成端番号
- ⌋ : ジャンパ線
- ◀ : 110成端

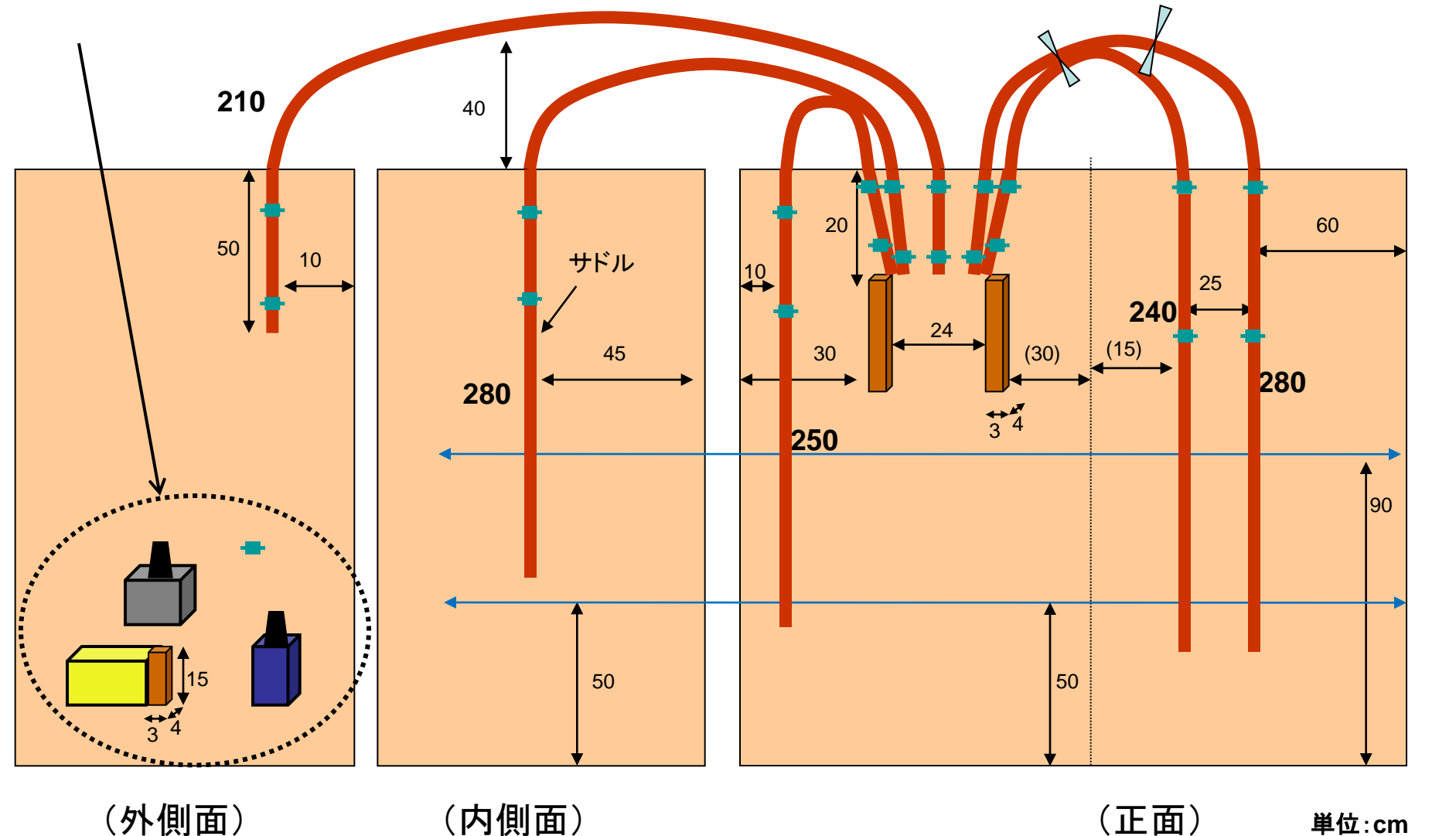
Ver.	2011/7/7	
TITLE	110/パネル接続図	
情報ネットワーク施工		課題3

Fig.5



Ver.	2011/7/7
TITLE	ラック配置図
情報ネットワーク施工	課題3

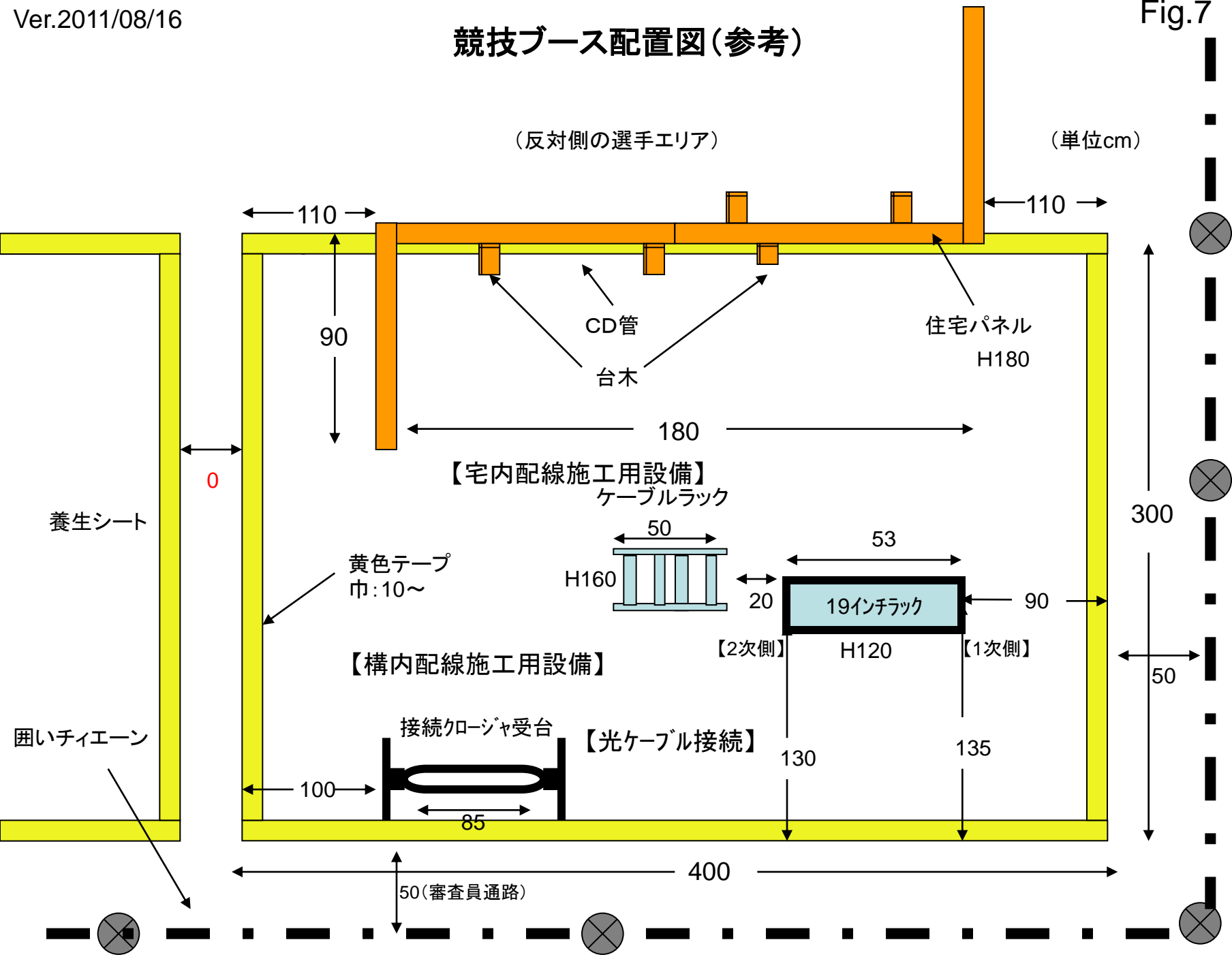
これらのサドル、スイッチボックス、TO、ラクワーク用添木は、指定の位置(図の青線内)に各自取り付けること。  
CD管の余長は切断して良い。



\* 本図は、施工指示(概略案)で、現地ではこのとおりに施工されないこともありますので、ご了承ください。

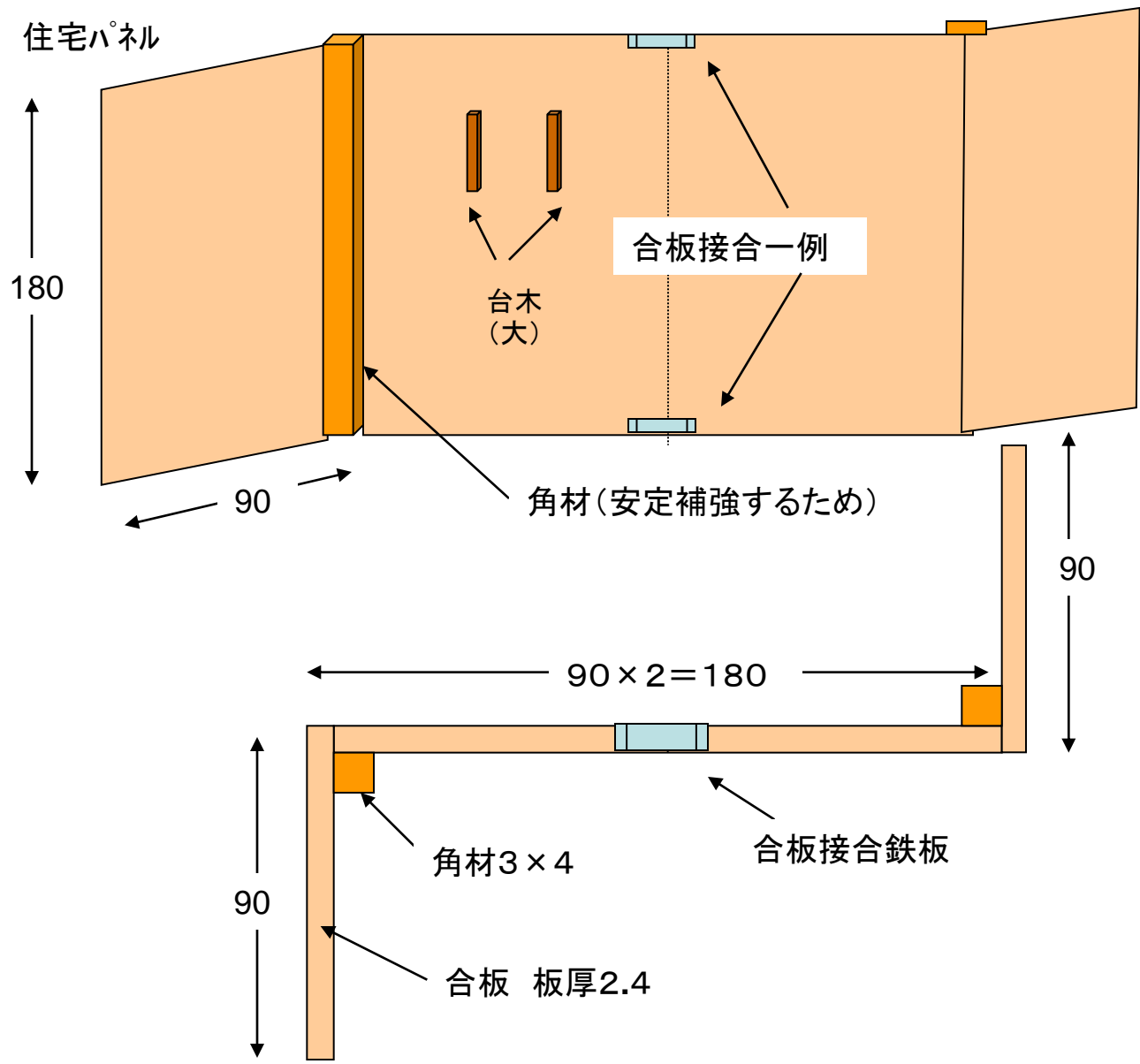
競技ブース配置図(参考)

Fig.7



宅内ブース立体図(主催者構築)

Fig.8



材質: 木製(合板)  
条件: 安定している  
: 木ネジが使用可能  
色彩: 特に指定なし  
: 両面の色が同一

(単位: cm)